

8. 電話機からの設定操作

▶ Aterm の各種設定を電話機から行う方法を、一覧表で示します。

8.1	電話機からの設定について	8-2
8.2	アナログポート個別の設定項目	8-2
8.3	アナログポート共通の設定項目 -1	8-6
8.4	アナログポート共通の設定項目 -2	8-10
8.5	その他の設定項目	8-13

8.1 電話機からの設定について

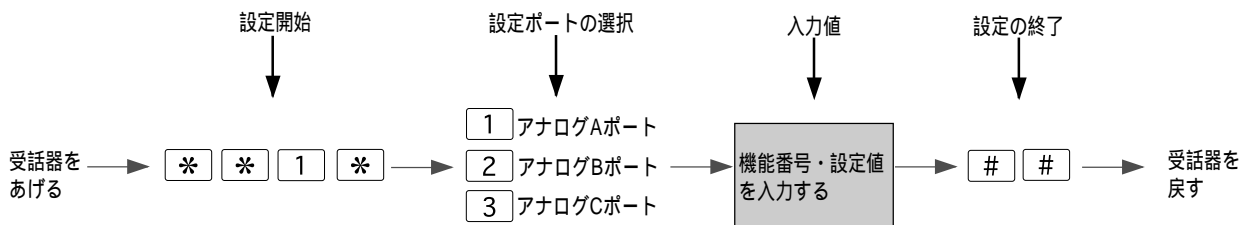
電話番号や接続機器の種別など、らくらくユーティリティと同等の内容を電話機から設定することも可能です。パソコンを使わないときなどにご利用ください。電話機からの設定状況は、Atermのディスプレイで確認できます。表示内容を見ながら正しく設定してください。

●ご参考・・・・・・・・

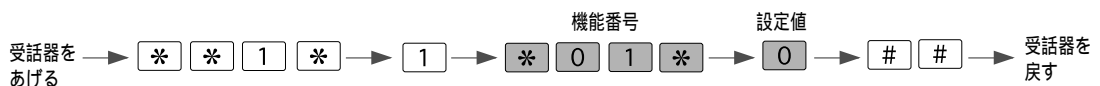
- ・ Atermにパソコンを接続した場合は、「らくらくユーティリティ」を使って簡単に設定することができます。
- ・ 電話番号などの基本設定については「2.11.3 電話機からの設定」(☞ 2-59ページ)で詳しく説明します。

8.2 アナログポート個別の設定項目

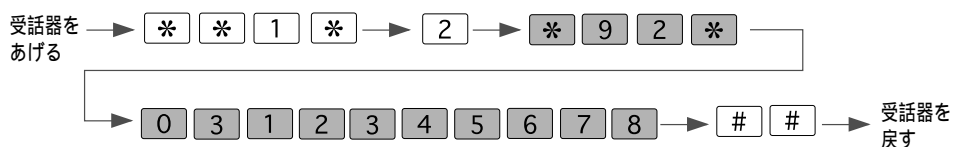
アナログポート(A・B・C)ごとに設定する機能です。各機能の入力値を、以下の 部分に当てはめてダイヤルを順番に押してください。

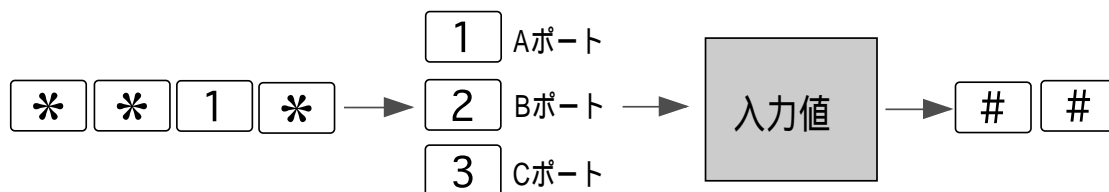


例1: アナログAポートに電話機を接続する場合

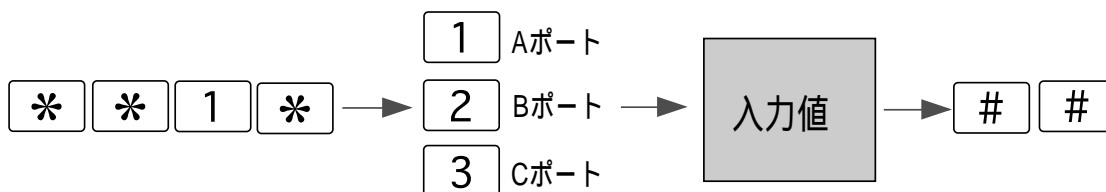


例2: アナログBポートに発信者通知番号(03-12345678)を登録する場合



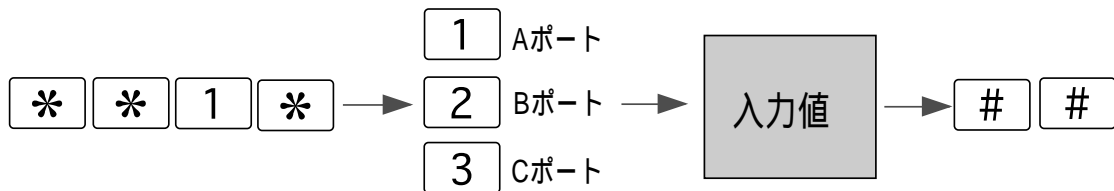


機能	設定内容	入力値
アナログポート接続機器選択	電話機	* 0 1 * → 0
	FAX/モデム	* 0 1 * → 1
	なし	* 0 1 * → 2
キャッチホン	使用しない	* 0 2 * → 0
	INSキャッチホン	* 0 2 * → 1
	疑似キャッチホン	* 0 2 * → 2
識別着信	使用しない	* 0 3 * → 0
	INSなりわけ識別着信	* 0 3 * → 1
	疑似識別着信	* 0 3 * → 2
	INSなりわけ識別着信 選択キャッチホン	* 0 3 * → 3
	疑似識別着信 選択キャッチホン	* 0 3 * → 4
HLC	使用しない	* 0 4 * → 0
	使用する	* 0 4 * → 1
	使用する(着信判定なし)	* 0 4 * → 2
グローバル着信	使用する	* 0 5 * → 0
	使用しない	* 0 5 * → 1
サブアドレスなし着信	着信する	* 0 6 * → 0
	着信しない	* 0 6 * → 1
ダイヤル桁間タイマ	5秒	* 0 7 * → 0
	9秒	* 0 7 * → 1
	11秒	* 0 7 * → 2
	13秒	* 0 7 * → 3
フッキング検出タイマ	30ms - 1000ms	* 0 8 * → 0
	300ms - 1000ms	* 0 8 * → 1
	500ms - 1500ms	* 0 8 * → 2



機能	設定内容	入力値
発信者番号通知	発信者番号を通知しない	* 0 9 * → 0
	発信者番号を通知する	* 0 9 * → 1
	INSネット64の申込内容に従う	* 0 9 * → 2
情報通知サブアドレス (1)	付ける	* 1 1 * → 0
	付けない	* 1 1 * → 1
受話音量	小	* 1 2 * → 0
	中	* 1 2 * → 1
	大	* 1 2 * → 2
リバースパルス送出	送出しない	* 1 3 * → 0
	送出する	* 1 3 * → 1
通話中の受話音量変更	変更しない(* # 無効)	* 1 4 * → 0
	変更する(* # 有効)	* 1 4 * → 1
識別リングング	使用しない	* 1 5 * → 0
	INSなりわけ	* 1 5 * → 1
	疑似なりわけ	* 1 5 * → 2
キャッチホン・ ディスプレイ(1)	使用しない	* 1 8 * → 0
	使用する	* 1 8 * → 1
着信番号選択 (8件の着信番号から選択)	選択する	* 9 1 * → 0
	次ページを表示する	* 9 1 * → 1
	選択番号を確認する	* 9 1 * → 2
	次の番号を表示する	* 9 1 * → 3
	前の番号を表示する	* 9 1 * → 4
発信者通知番号	電話番号(32ケタまで。 市外局番から入力する)	* 9 2 * → 電話番号
自己サブアドレス	サブアドレス(19ケタまで)	* 9 3 * → サブ アドレス
着信する i・ナンバー情報	i・ナンバー情報1	* 9 4 * → 1
	i・ナンバー情報2	* 9 4 * → 2

1:アナログA・Bポートのみに設定できます。



機能	設定内容	入力値
発信する i・ナンバー情報	i・ナンバー情報1	* 9 5 * → 1
	i・ナンバー情報2	* 9 5 * → 2
情報通知サービス (1)	使用しない	* 1 0 * → 0
	ナンバー・ディスプレイ	* 1 0 * → 1
	モデム・ダイヤルイン	* 1 0 * → 2
	アナログ・ダイヤルイン	* 1 0 * → 3
	ナンバー・ディスプレイ & モデム・ダイヤルイン	* 1 0 * → 4

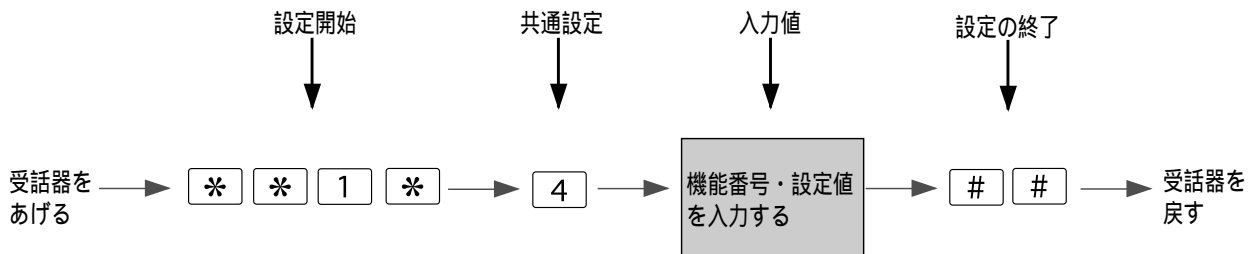
1: アナログA・Bポートのみに設定できます。

アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時の内線番号の設定は、i・ナンバー使用時 (* 9 0 1 *) (☎8-12ページ)、i・ナンバー未使用時 (* 8 0 *) (☎8-9ページ)で行います。

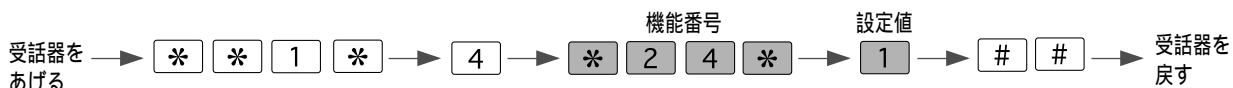
8.3 アナログポート共通の設定項目 - 1

全アナログポートに共通の機能です。

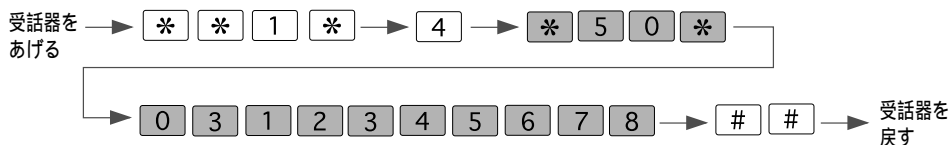
各機能の入力値を、以下の 部分に当てはめて設定します。

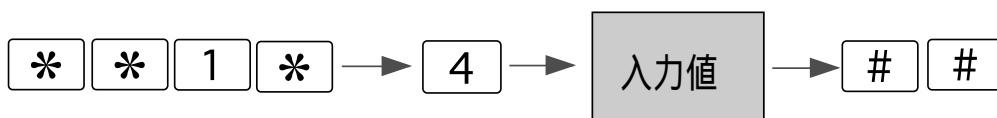


例1: 内線通話・内線転送の使用を設定する場合



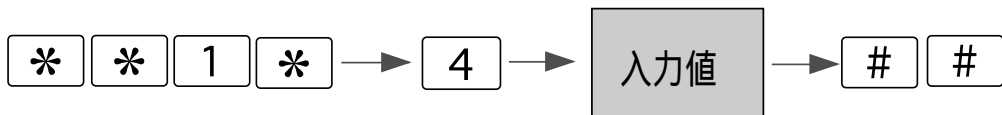
例2: 短縮ダイヤル0番に「03-12345678」を登録する場合





機能	設定内容	入力値
停電時の着信(1)	着信ブザー	* 2 2 * → 0
	着信リング	* 2 2 * → 1
	着信なし	* 2 2 * → 3
優先着信ポート(2)	優先なし	* 2 3 * → 0
	Aを優先	* 2 3 * → 1
	Bを優先	* 2 3 * → 2
	Cを優先	* 2 3 * → 3
内線通話・内線転送	使用しない	* 2 4 * → 0
	使用する	* 2 4 * → 1
三者通話	使用しない	* 2 5 * → 0
	三者通話	* 2 5 * → 1
	疑似三者通話	* 2 5 * → 2
通信中転送	使用しない	* 2 6 * → 0
	使用する	* 2 6 * → 1
選択着信転送	無条件転送	* 2 8 * → 0
	INSなりわけ機能による転送	* 2 8 * → 1
	識別着信転送	* 2 8 * → 2
着信転送先アドレス	着信転送先(0)	* 3 0 * → 転送先(0) 電話番号
	着信転送先(1)	* 3 1 * → 転送先(1) 電話番号
	着信転送先(2)	* 3 2 * → 転送先(2) 電話番号
電話番号転送先メールアドレス(3)	転送先メールアドレス(0)	* 3 5 * → 転送先(0) メールアドレス
	転送先メールアドレス(1)	* 3 6 * → 転送先(1) メールアドレス
	転送先メールアドレス(2)	* 3 7 * → 転送先(2) メールアドレス

- 1: 停電時の着信は、アナログAポートにのみ有効です。
- 2: アナログポート接続機器選択で「なし」に設定したアナログポートは選択できません。
- 3: メールアドレスは、「文字コード一覧表」(☞ 5-32ページ)を参照して入力してください。



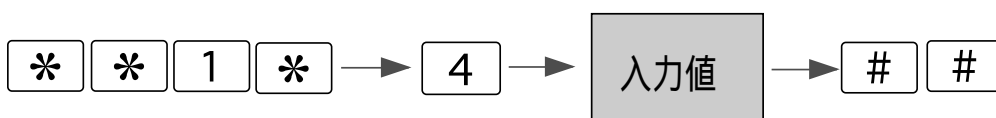
機能	設定内容	入力値
着信転送元アドレス・サブアドレス (4)	着信転送元アドレス(0)	* 4 0 * → 転送元(0)電話番号を入力 <small>i・ナンバー情報1のときは</small> * 4 0 * → 1
	着信転送元アドレス(1)	* 4 1 * → 転送元(1)電話番号を入力 <small>i・ナンバー情報2のときは</small> * 4 1 * → 2
	着信転送元アドレス(2)	* 4 2 * → 転送元(2)電話番号を入力
	着信転送元サブアドレス(0)	* 4 3 * → 転送元(0)サブアドレスを入力
	着信転送元サブアドレス(1)	* 4 4 * → 転送元(1)サブアドレスを入力
	着信転送元サブアドレス(2)	* 4 5 * → 転送元(2)サブアドレスを入力
短縮番号	アドレス部分(5)	* 5 0 * → 電話番号を入力 <small>?</small>
	サブアドレス部分(6)	* 5 9 * → サブアドレスを入力 <small>?</small>
累積料金表示・初期化	表示 初期化	* 7 0 * → 1
発信時アドレス表示	表示しない	* 7 1 * → 0
	表示する	* 7 1 * → 1
マイプライベート着信	使用しない	* 7 2 * → 0
	使用する	* 7 2 * → 1
お出かけモード	おやすみモード	* 7 3 * → 1
	電話着信転送モード	* 7 3 * → 2
	ボイスワープ転送モード	* 7 3 * → 3
	フラッシュモード	* 7 3 * → 4
ボイスワープ転送モード	無条件転送	* 7 4 * → 1
	無応答時転送	* 7 4 * → 2
	話中時転送	* 7 4 * → 3
	無応答または話中時転送	* 7 4 * → 4
# 発信	発信しない	* 7 5 * → 0
	発信する	* 7 5 * → 1
	##で発信する	* 7 5 * → 2

機能	設定内容	入力値
i・ナンバー	使用しない	* 7 6 * → 0
	使用する	* 7 6 * → 1

4: 着信番号の設定もあわせて行ってください。

5: 5 0 ~ 5 9 は、短縮番号0~9に対応しています。

6: 6 0 ~ 6 9 は、短縮番号0~9に対応しています。



機能	設定内容	入力値
着信転送	着信転送 転送トーク・転送元 トーク共になし	* 2 7 * → 1 → # * → 0
	着信転送 転送トークあり 転送元トークなし	* 2 7 * → 1 → # * → 1
	着信転送 転送トークなし 転送元トークあり	* 2 7 * → 1 → # * → 2
	着信転送 転送トークあり 転送元トークあり	* 2 7 * → 1 → # * → 3
	疑似着信転送	* 2 7 * → 2
	電話番号着信通知	* 2 7 * → 3
着信番号	契約者回線番号	* 8 0 * → # * → (7) 契約者回線番号を入力
	ダイヤルイン番号 (8)	* 8 1 * → # * → (7) ダイヤルイン番号を入力 7

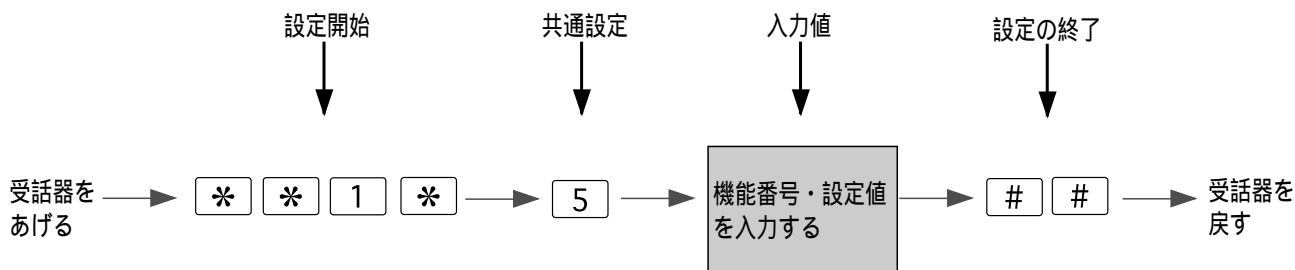
7: アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時に内線番号を指定できます(省略可)。アナログA・Bポートのみ設定可能です。

8: 1 ~ 7 は、ダイヤルイン番号1~7に対応しています。

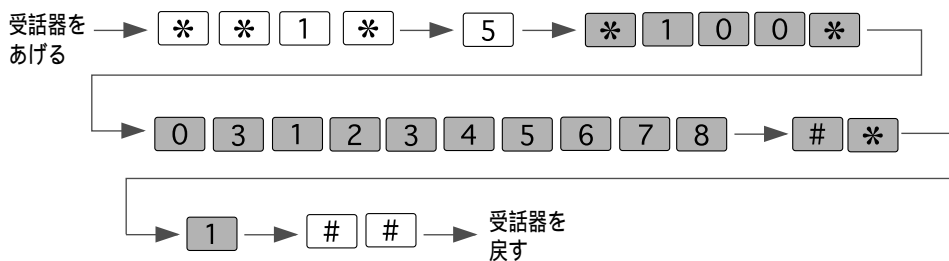
8.4 アナログポート共通の設定項目 -2

全アナログポートに共通の機能です。

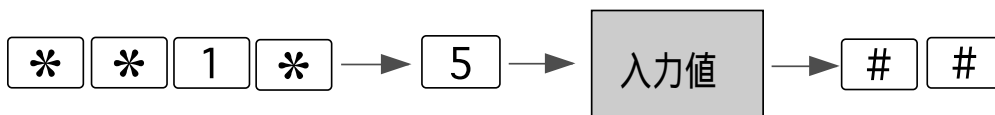
各機能の入力値を、以下の 部分に当てはめて設定します。



例1: マイプライベート着信で電話番号(03-12345678)をアナログAポートに着信するように登録する場合 (1)

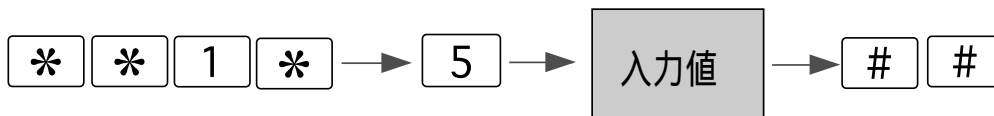


1: 1 0 0 ~ 1 2 9 は、マイプライベート着信の登録番号00~29に対応しています。



機能	設定内容	入力値
マイプライベート着信	特定の電話番号をアナログA/B/Cポートに着信させる	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 1 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ 電話番号 →</div> <div style="margin-right: 10px;"> # * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 1 2 9 </div> </div> <small>1: アナログAポート 2: アナログBポート 3: アナログCポート</small>
	特定の電話番号・サブアドレスをアナログA/B/Cポートに着信させる	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 1 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ 電話番号 →</div> <div style="margin-right: 10px;"> # * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 1 2 9 </div> </div> <div style="margin-left: 20px; margin-top: -10px;"> → サブアドレス → # * → <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 1 2 9 </div> </div> <small>1: アナログAポート 2: アナログBポート 3: アナログCポート</small>
	非通知からの着信をアナログA/B/Cポートに着信させる	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 1 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> * 0 1 </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> # * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 1 2 9 </div> </div> <small>1: アナログAポート 2: アナログBポート 3: アナログCポート</small>
	公衆電話からの着信をアナログA/B/Cポートに着信させる	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 1 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> * 0 2 </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> # * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 1 2 9 </div> </div> <small>1: アナログAポート 2: アナログBポート 3: アナログCポート</small>
	表示圏外の着信をアナログポートに着信させる	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 1 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> * 0 3 </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> # * </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 1 2 </div> </div> <small>1: アナログAポート 2: アナログBポート</small>
識別リングング (1)	アドレスの設定	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 2 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ 電話番号を入力</div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 2 2 9 </div>
	アドレス・サブアドレスの設定	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 2 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ 電話番号を入力</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> # * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ サブアドレスを入力</div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 2 2 9 </div>
セキュリティ + 選択キャッチホン (2)	アドレスの設定	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 3 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ 電話番号を入力</div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 3 2 9 </div>
	アドレス・サブアドレスの設定	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> * 3 0 0 * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ 電話番号を入力</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="margin-right: 10px;"> # * </div> <div style="margin-right: 10px;">→ サブアドレスを入力</div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> 3 2 9 </div>

- 1: 2 0 0 ~ 2 2 9 は、識別リングング登録番号00~29に対応しています。電話番号は32ケタまで、サブアドレスは19ケタまで入力できます。
- 2: 3 0 0 ~ 3 2 9 は、選択キャッチホン登録番号00~29に対応しています。電話番号は32ケタまで、サブアドレスは19ケタまで入力できます。



機能	設定内容	入力値
i・ナンバー情報と電話番号(1)	i・ナンバー情報1の電話番号参照・設定	* 9 0 1 * → 電話番号 → # * → 内線指定番号
	i・ナンバー情報2の電話番号参照・設定	* 9 0 2 * → 電話番号 → # * → 内線指定番号
ボイスワープ設定	停止番号既存値参照・設定	* 9 1 0 * → 電話番号を入力
	無条件番号既存値参照・設定	* 9 1 1 * → 電話番号を入力
	無応答番号既存値参照・設定	* 9 1 2 * → 電話番号を入力
	話中番号既存値参照・設定	* 9 1 3 * → 電話番号を入力
	無応答 + 話中番号既存値参照・設定	* 9 1 4 * → 電話番号を入力
	自己アドレス参照・設定	* 9 1 9 * → 電話番号を入力

1: アナログ・ダイヤルイン使用時に内線番号を指定できます(省略可)。アナログA・Bポートのみに設定できます。

8.5 その他の設定項目

その他、次の操作も電話機から可能です。

受話器をあげる → 入力値 → 受話器を戻す

機能	設定内容	入力値
日付・時刻の設定	年・月・日・時・分	* * 1 * → 9 * → 年 (西暦下2桁)月(2桁)日(2桁)時(2桁)分(2桁) → #
ディスプレイの バックライトの設定	AUTOモード	* * → 8 0 → 2
	点灯モード	* * → 8 0 → 1
	消灯モード	* * → 8 0 → 0
	AUTO+データ通信中 点灯モード	* * → 8 0 → 3
	AUTO+Bチャンネル 使用中点灯モード	* * → 8 0 → 4
待機中の表示	機種名表示	* * → 8 1 → 0
	時計表示	* * → 8 1 → 1
迷惑電話防止の設定	かかってきた電話	* * → 5 2 → 1 → #
	電話番号	* * → 5 2 → 2 → 電話番号(最大15桁) → # #
	非通知	* * → 5 2 → 2 → * 0 1 → # #
	公衆電話	* * → 5 2 → 2 → * 0 2 → # #
	表示圏外	* * → 5 2 → 2 → * 0 3 → # #
	電話番号の参照	* * → 5 3 → 8(次)/ 2(前)
	電話番号の削除	* * → 5 3 → (削除する番 号を表示) → * *
出荷時の状態に戻す	* * → 9 8 → *	

9. 停電対策

- ▶ 停電時に、Atermとアナログポートに接続した電話機を使用する方法を説明します。

9.1 停電モードでの動作	9-2
9.2 電池のセットのしかた	9-3

9.1 停電モードでの動作

停電するとAtermは使用できなくなり、通話中でも通話が切断されます。これを防ぐため、あらかじめAtermに電池を入れておくことをお勧めします。電池を入れておくと、停電時には自動的に停電モードに切り替わります。

■ 使用できるポート ■

アナログAポート、データポートまたはUSBポート、S点ユニット

電源不要なもの、あるいはバッテリーなどで動作する機器を接続してください。
電子メール着信通知や遊遊メール、UUIメールも利用できます。

■ 電池使用時の連続動作可能時間の目安 ■

	連続待ち受け時間	連続通話時間
ニカド電池パック (フル充電時)	約1時間	約30分
単3アルカリ乾電池 (新品)	約4時間	約2時間

🔍 ご注意

- ・ アナログBポート、Cポートの電話機の受話器をあげると、使用できる時間が短くなります。受話器は置いたままにしておいてください。
- ・ S点ユニット、データポート、USBポートに機器を接続すると、使用できる時間が短くなります。不要な機器ははずしてください。

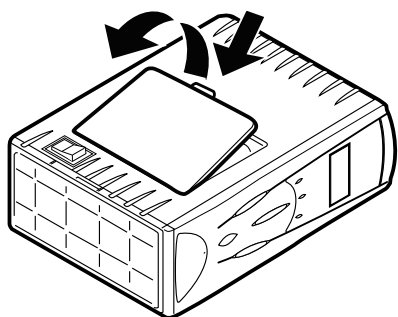
9.2 電池のセットのしかた

単3アルカリ乾電池4本、または専用のニカド電池パック(品番:PC-IT/B02)を使用できます。ニカド電池パックは、購入時は充電されていません。Atermにセットしておくとも自動的に充電されますので、常にセットしてお使いください。

▼ ご注意

ニカド電池パックの充電には約2日間かかります。完全に充電されていないうちに、停電があると、停電モードに切り替わらなかったり、使用時間が短くなる場合があります。

1. Atermの電源を切る
2. 電池カバーをあける

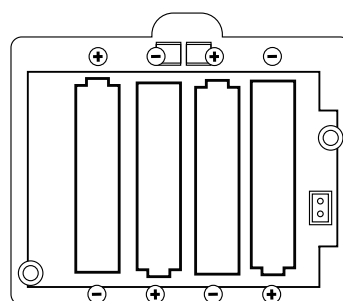
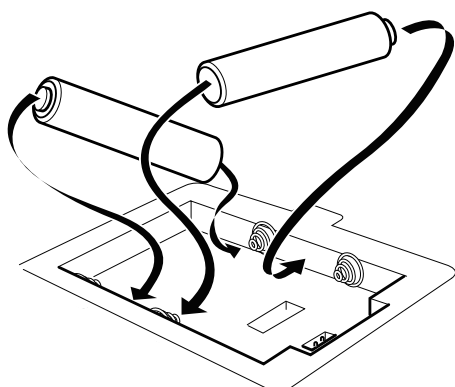


3. 電池を入れる

単3アルカリ乾電池の場合

市販の単3アルカリ乾電池(4本)をご用意ください。

+ - の向きを間違えないように図のようにセットしてください。

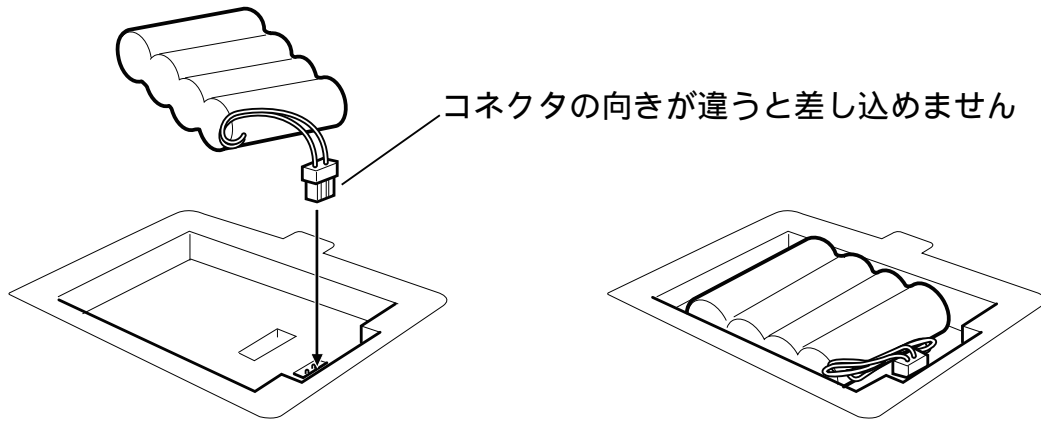


ニカド電池パックの場合

別売のAtermITX70/D、80、80/D用 ニカド電池パック(品番:PC-IT/B02)をご用意ください。

ニカド電池パックのコネクタ部をAtermに差し込んでから、電池パックをはめ込みます。

電池パックをはめ込んでから、コードを電池のすきまに押し込んでください。



4. 電池カバーを閉じる

5. Atermの電源を入れる

ニカド電池パックの場合は、充電が始まります。約2日間で完全に充電されます。停電モードで電池を使用すると、停電復旧後、ふたたび自動的に充電します。

9

ご注意

- 電池を入れてご利用になる場合は特に、直射日光・高温・高湿の場所にAtermを設置しないようご注意ください。
- 電池を入れた側を発熱する機器の近くに置かないでください。
- 通風口をふさがないでください。
- ご使用の電池の利用上の注意をよく守ってお使いください。

? こんなときは

- 停電モードで乾電池使用の場合、Aterm前面のPOWERランプの点滅がゆっくり(1秒間に1回)になったときは、通話/通信が途中で切断される可能性がありますので、早めに電池を交換してください。
- ニカド電池パックを充電しているのに、停電モード時の動作が不安定になる場合は、電池の寿命です。新しい電池パックに交換してください。
- 停電時にニカド電池パックの電池が切れた場合は、単3アルカリ乾電池をご利用

用ください。

●ご参考・・・・・・・・

- ニカド電池パックの寿命は、通常のご利用で約2年間です。いざという場合に備えて、早めの交換をお勧めします。
- 3カ月に1回程度は、電池カバーを開けて電池の点検を行うことをお勧めします。アルカリ乾電池を長期間入れたままにしておくと、電池の液もれが起こることがあります。アルカリ乾電池は、1年で交換してください。

警 告

禁止事項について

本装置の安全性の劣化につながる使用の禁止

ニカド電池コネクタの充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。また、充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



⚠ 危険

アルカリ乾電池使用時の注意

アルカリ乾電池内部の液が入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



ニカド電池パック使用時の注意

電池パックを使用する場合は次のことを必ず守ってください。電池パックの漏液・発熱・破裂の原因となります。

- ・ 充電は、Aterm以外では行わないでください。
- ・ 電池パックは、コネクタの向きが決められています。Atermに接続するときは、コネクタの向きを確かめ正しく差し込んでください。
- ・ 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。
- ・ 火の中に投入したり、加熱しないでください。
- ・ 直接はんだ付けをしないでください。
- ・ 電池パックを分解・改造しないでください。
- ・ 電池パックを金属製品と一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。
- ・ 電池パックのコードをショートさせないように注意してください。また、プラスとマイナスを針金などの金属類で接続しないでください。



電池パック内部の液が入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



使用済みニカド電池について

Atermを破棄する場合は、ニカド電池パックを取り出してください。取り出したニカド電池パックや寿命に達して交換したニカド電池パックは、貴重な資源となりますので、Atermまたはニカド電池パックをお買い上げの販売店もしくはお近くのニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。



10. Atermを出荷時の状態に戻す(初期化)

▶ Aterm を初期化し、出荷時の状態に戻す方法を説明します。

10.1	初期化とは	10-2
10.2	らくらくユーティリティで初期化する	10-3
10.3	操作ボタンを使って初期化する	10-4
10.4	ディップスイッチで初期化する	10-4

10.1 初期化とは

初期化とは、これまでにAtermに設定した内容を消去し、Atermを出荷時の状態に戻すことです。

今までとは違う回線でAtermをご利用になる場合、Atermがうまく動作しない場合などにご利用ください。また、Atermの設定を初めからやり直したい場合にご利用ください。

初期化の方法は4通りあります。

- ・らくらくユーティリティ
- ・Aterm前面の操作ボタン
- ・電話機からの操作
- ・ディップスイッチ

らくらくユーティリティを使う方法では、電話帳や電話番号など一部の情報が初期化されません。番号などを消したくないときに利用してください。

ディップスイッチは、Aterm前面の操作ボタンからの初期化がうまくいかない場合などにお使いください。

電話機からの初期化は、「8. 電話機からの設定操作」(☞8-13ページ)をお読みください。

10.2 らくらくユーティリティで初期化する

らくらくユーティリティを使って初期化します。

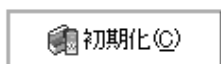
ただし、この方法では、着信番号、通知番号、電話帳、自己サブアドレス、内線指定番号、着信転送電話番号、累積通信料金、受話音量設定値、時刻設定値は、変更されません。

1. らくらくユーティリティを起動する

2. [初期化]ボタンをクリックする

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(初期)

らくらくユーティリティを起動し、初期画面の[初期化]ボタンをクリックします。



3. [はい]ボタンをクリックする

初期化してよいときは、[はい]ボタンをクリックします。



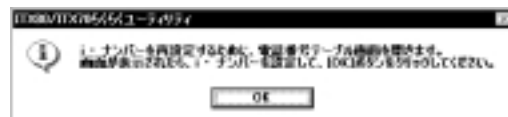
4. [OK]ボタンをクリックする

次の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

・i-ナンバーを使用しない場合



・i-ナンバーを使用する場合



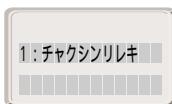
5. 電話番号を設定し直す

電話番号テーブルが表示されたら、電話番号を設定し直します。

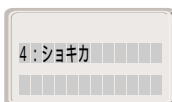
10.3 操作ボタンを使って初期化する

Aterm前面のボタンを使って初期化を行います。

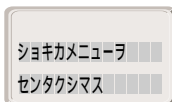
1. Menuボタンを押す



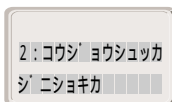
2. Selectボタンを3回押す



3. Enterボタンを押す

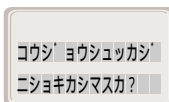


4. Selectボタンを押す

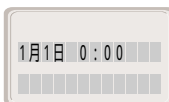
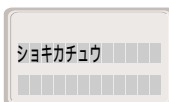


5. Enterボタンを押す

工場出荷値に初期化します。本当に初期化してよいかどうか確認してください。初期化を中止するときは、Menuボタンを押します。



6. 初期化するときにはEnterボタンを押す

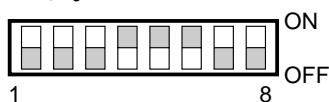


10.4 ディップスイッチで初期化する

ディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、電池ケースの中にあります。

1. Atermの電源を切る
2. 電池カバーを開け、電池が入っている場合は電池を抜き出す
3. ディップスイッチの4～6をONにする

電池カバーを開け、つまようじなど先の細いものでディップスイッチをONの側に倒します。



4. Atermの電源を入れる
5. Atermの電源を切る
6. ディップスイッチの4～6をOFFに戻す
7. Atermの電源を入れる

10

操作ボタンを使って初期化する / ディップスイッチで初期化する

11. Aterm のバージョンアップ

- ▶ ファームウェアを最新版にバージョンアップする方法を説明します。

11.1	バージョンアップとは	11-2
11.2	ファームウェアのバージョンアップ	11-4

11.1 バージョンアップとは

ファームウェアを更新することをバージョンアップといいます。バージョンアップによって、新しい機能が利用できるようになったり、不具合を改善することができます。

■ らくらくユーティリティのバージョンを確認する ■

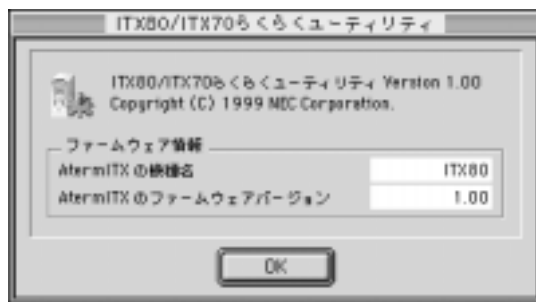
らくらくユーティリティとファームウェアの現在のバージョンを確認できます。

1. らくらくユーティリティを起動し、[バージョン] ボタンをクリックする
『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（初期）
らくらくユーティリティとファームウェアの現在のバージョンを確認できます。

Windowsの場合

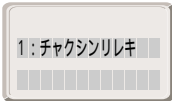

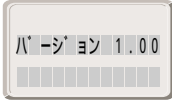


Macintoshの場合



■ ファームウェアのバージョンを確認する ■

Aterm前面の操作ボタンを使って、ファームウェアのバージョンを確認できます。

1. Menuボタンを押す

2. Selectボタンを4回押す

3. Enterボタンを押す
現在のバージョンが表示されます。

4. Menuボタンを押す
通常が表示に戻ります。

■ AtermStation にアクセスする ■

Aterm 用のホームページであるAtermStationでは、Aterm各機種の最新ファームウェアやユーティリティ、Atermに関するさまざまな情報が提供されています。バージョンアップのための、最新ソフトウェアは、AtermStationからダウンロードしてお使いください。

1. インターネットプロバイダなどに接続する
2. WWWブラウザを起動し、URLを指定する
URLは次のとおりです。
<http://aterm.cplaza.ne.jp/>
3. 「バージョンアップメニュー」をクリックして、ソフトウェアをダウンロードする
4. ダウンロードが終了したら、接続を切断する

タスクバー右端にある、[ダイヤルネットワークモニター]インジケータをダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。



11.2 ファームウェアのバージョンアップ

AtermStationで、ITX80/70シリーズ用の最新ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップ操作を行ってください。

●ご参考・・・・・・・・

- ・ ファームウェアとは、Aterm内蔵のフラッシュメモリに書き込むソフトウェアのことで、Atermのハードウェアを動かすものです。ファームウェアをバージョンアップすると、Atermの新機能を利用できるようになります。
- ・ ファームウェアをバージョンアップするときは、ユーティリティやUSBドライバも最新のものにバージョンアップしてください。

▶ご注意・・・・・・・・

バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと常駐しているアプリケーションを終了させてください。

11.2.1 Windows をお使いの方

必ず、ITX80/70シリーズのWindows 95 / Windows 98 / Windows NT4.0用のファームウェアをダウンロードしてください。

1. AtermStationから最新ファームウェアをダウンロードする
3. [次へ] ボタンをクリックする

- 1) AtermStationのメニューから「バージョンアップメニュー」をクリックします。
- 2) AtermITX80/70シリーズの最新ファームウェアをクリックします。
- 3) Windows 98 / Windows 95 / Windows NT 4.0用をクリックします。
- 4) WWWブラウザの指示にしたがってダウンロードし、パソコンに保存します。



2. バージョンアップを起動する
4. [次へ] ボタンをクリックする

[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]-[AtermITX80/ITX70ユーティリティ]-[AtermITX80/ITX70らくらくバージョンアップ]を選択します。

ダウンロードしたファイルが自動実行形式(拡張子.exeとなっているもの)の場合は、アイコンをダブルクリックするだけでバージョンアップが開始されます。



5. ダウンロードしたファイルをファイル名に指定し[次へ]ボタンをクリックする



6. [実行]ボタンをクリックするバージョンアップを開始します。



7. バージョンアップが終了したら[終了]ボタンをクリックする

次の画面が表示され、AtermのPOWERランプが緑色に点灯したら、[終了]ボタンをクリックします。



⚠️ ご注意

- ・ バージョンアップ中は、Atermの電源を切らないでください。
- ・ ITX80/70シリーズ以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、Atermが動作しなくなります。

? こんなときは

バージョンアップの途中で何らかの障害が発生した場合は、[OK]ボタンをクリックして、もう一度バージョンアップ操作をしてください。

11.2.2 Macintosh をお使いの方

必ず、ITX80/70シリーズのMacintosh用のファームウェアをダウンロードしてください。

1. AtermStationから最新ファームウェアをダウンロードする
 - 1) AtermStationのメニューから「バージョンアップメニュー」をクリックします。
 - 2) AtermITX80/70シリーズの最新ファームウェアをクリックします。
 - 3) Macintosh用をクリックします。
 - 4) WWWブラウザの指示にしたがってダウンロードし、パソコンに保存します。
2. ファイルを解凍する

ダウンロードしたファイルはhqx形式で圧縮されています。StuffIt Expander(アラジンシステム社)などで解凍してください。
3. らくらくバージョンアップを起動する

ITX80/ITX70らくらくバージョンアップをダブルクリックします。

以降、画面の指示に従って操作してください。

ご注意

- ・ バージョンアップ中は、Atermの電源を切らないでください。
- ・ ITX80/ITX70シリーズ以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、Atermが動作しなくなります。

? こんなときは

バージョンアップの途中で何らかの障害が発生した場合は、[OK] ボタンをクリックして、もう一度バージョンアップ操作をしてください。

12. お困りのときには












- ▶ Aterm がうまく動かない、マニュアルどおりに操作しても違う結果となる・・・
こんなときにお読みください。

12-1	トラブルシューティング	12-2
12-2	Windows98/95 の USB についての Q&A	12-24
12-3	Macintosh の USB についての Q&A	12-26
12-4	ハイパーターミナルで接続を確認する	12-27
12-5	自己診断	12-30
12-6	Aterm の設定内容を確認する	12-31

12.1 トラブルシューティング

Atermを使っていて、トラブルが起きたときや疑問に思うことがあるときは、まずここを読んで対処してください。該当する項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、販売店やNECパーソナルコミュニケーションインフォメーションセンターにお問い合わせください。

「付録11. Atermに関するお問い合わせ先」(付-25ページ)

- ・ 設置に関するトラブル  12-2ページ
- ・ インストールに関するトラブル  12-3ページ
- ・ 電話に関するトラブル  12-4ページ
- ・ ファクスに関するトラブル  12-7ページ
- ・ モデム通信(アナログ)に関するトラブル  12-8ページ
- ・ インターネットに関するトラブル  12-9ページ
- ・ WindowsのUSBポート接続に関するトラブル  12-13ページ
- ・ Windows/MacintoshのUSBポート接続に関するトラブル  12-16ページ
- ・ USBネットワークに関するトラブル  12-17ページ
- ・ 通信全般に関するトラブル  12-19ページ
- ・ その他のトラブル  12-21ページ

■ 設置に関するトラブル ■

症状	原因と対策
電源を入れたとき POWERランプが点灯しない、 ディスプレイに何も表示され ない	電源コードがはずれている 電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 電源が入っていない 電源スイッチの[I](オン)側を押してください。 電源コードがパソコンのコンセントに差し込まれている パソコンの電源を入れてください。Atermには常時電源を供給する必要があるため、Atermの電源コードは、できるだけ壁の電源コンセントに差し込んでください。
ディスプレイに「カイセンショ ウガイレイヤ1ダウン」と表示 される	INSネット64の同期がとれていません 回線ケーブルがはずれている Atermと回線コンセント(またはローゼット)をAtermに添付のケーブルで接続してください。 回線の極性が反転している(AtermITX80/D、AtermITX70/D) 背面の回線リバーススイッチ(RVS/NOR)を反対側に切り替えてください。 終端抵抗の設定が合っていない(AtermITX80) 終端抵抗切替スイッチの設定を確認してください。 INSネット64への切り替えが完了していない INSネット64への切り替えが完了しているかNTTに確認してください。

症状		原因と対策
電源を入れたとき	ディスプレイに「カイセンショウガイレイヤ1ダウン」と表示される	電話回線にガスの自動検針器が接続されている(アナログ回線から変更した場合) ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場合は撤去してもらってください。
	ディスプレイに「カイセンショウガイレイヤ2ダウン」と表示される	INSネット64のレイヤ2同期がとれていません 電話回線にガスの自動検針器が接続されている(アナログ回線から変更した場合) ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場合は撤去してもらってください。 Atermが故障している 自己診断(☎12-30ページ)を行い、Atermが故障していないか確認してください。自己診断の結果が正常な場合は、NTTにご相談ください。

■ インストールに関するトラブル ■


症状		原因と対策
Atermに添付のCD-ROMをセットしたとき	メニュー画面が表示される	添付のCD-ROMをセットすると、メニューが表示されるように設定されています。 表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 メニューの[終了]をクリックします。 CD-ROMを入れた時に最初の画面が表示されないようにします(Atermだけでなく、ほかのCD-ROMでも表示されなくなります:Windowsの場合)。 1)[コントロールパネル][システム]をダブルクリックする 2)[デバイスマネージャ]タブの[CD-ROM]をダブルクリックする 3)使用するCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックする 4)[設定]タブをクリックする 5)[オプション][自動挿入]のチェックをはずす 6)[OK]ボタンをクリックし、Windowsを再起動する
USBコントローラ組み込み時	Atermが「不明なデバイス」として認識される	「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」への組み込み時に誤ってデバイスドライバウィザードを[キャンセル]してしまったためです。 次の手順で、「不明なデバイス」を削除してください。 1)[コントロールパネル][システム]をダブルクリックする 2)[デバイスマネージャ]タブ内の[不明なデバイス]を選択し、[削除]ボタンをクリックする
	Windowsがフリーズした	ほかのパソコンで試してみてください。

	症状	原因と対策
USBコントローラ組み込み時	[システム]のプロパティに [デバイスマネージャ]のタブがない。または、[コントロールパネル]に [モデム]のアイコンがない	お使いのパソコンがPC98-NXシリーズの場合、誤操作による設定の変更からパソコンを守るための仕組みとして、CyberTrio-NXが入っています。 Cyber Trio-NXのモードを「アドバンスモード」に切り替えてお使いください。

■ 電話に関するトラブル ■

	症状	原因と対策								
電話が使えない	受話器を上げて音がない	Atermの電源が入っていない 電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 電源スイッチの [I] (オン) を押した状態にしてください。 Atermと電話機が正しく接続されていない Atermのアナログポートと電話機の回線 (LINE) コネクタを電話機に添付されているケーブルで接続してください。								
	受話器を上げると「ブーブー」という音がする	INSネット64の同期がとれていない 「ディスプレイに「カイセンショウガイレイヤ1ダウン」と表示される」の欄を参照し、同様の対処を行ってください。 「ディスプレイに「カイセンショウガイレイヤ2ダウン」と表示される」の欄を参照し、同様の対処を行ってください。 アナログポートを使用不可にしている アナログポートを使用可能にします。 受話器を上げて [*] [*] [1] [*] [ポート番号] [*] [0] [1] [*] [接続機器の種別] [#] [#] と押し、受話器を戻します。 <table border="0"> <tr> <td><u>ポート番号</u></td> <td><u>接続機器の種別</u></td> </tr> <tr> <td>1:Aポート</td> <td>0:電話</td> </tr> <tr> <td>2:Bポート</td> <td>1:FAX / モデム</td> </tr> <tr> <td>3:Cポート</td> <td>2:使用しない</td> </tr> </table>	<u>ポート番号</u>	<u>接続機器の種別</u>	1:Aポート	0:電話	2:Bポート	1:FAX / モデム	3:Cポート	2:使用しない
	<u>ポート番号</u>	<u>接続機器の種別</u>								
1:Aポート	0:電話									
2:Bポート	1:FAX / モデム									
3:Cポート	2:使用しない									
電話をかけることができない	電話機の設定がトーン (PB) になっていない 電話機の取扱説明書をご覧になり、ダイヤル方式をトーン (PB) へ切り替えてください。 疑似キャッチホン、疑似着信転送、疑似三者通話中である 疑似キャッチホン、疑似着信転送、疑似三者通話中は、Bチャンネルを2つ使用するので別の電話はかけられません。									

症状		原因と対策								
電話が使えない	電話をかけることができない	128kbpsマルチリンクPPP通信をしている 128kbpsマルチリンクPPP通信中はBチャンネルを2つ使用するので、電話はかけられません。 「リソースBOD」の設定を行い、電話をかけられるようにすることをお勧めします。								
	電話をかけたときに、相手とつながるまでの時間が長くかかる	ダイヤル桁間タイマが働いて、最後にダイヤルしてから発信するまで5秒以上かかっている ダイヤル後、電話機の【#】を押すとすぐに発信します。								
	LCR機能付き電話機を使用したときに、電話がつながらない	LCR機能付き電話機を使用しているとダイヤルしている途中で発信する ダイヤル桁間タイマを5秒(初期状態)より長くします。 受話器を上げて【*】【*】【1】【*】[ポート番号] 【*】【0】【7】【*】[時間]【#】【#】と押し、受話器を戻します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ポート番号</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1:Aポート</td> <td>1:9秒</td> </tr> <tr> <td>2:Bポート</td> <td>2:11秒</td> </tr> <tr> <td>3:Cポート</td> <td>3:13秒</td> </tr> </tbody> </table>	ポート番号	時間	1:Aポート	1:9秒	2:Bポート	2:11秒	3:Cポート	3:13秒
	ポート番号	時間								
	1:Aポート	1:9秒								
2:Bポート	2:11秒									
3:Cポート	3:13秒									
着信音が鳴って、受話器を上げたのに通話できない。または電話をかけて相手が応答すると電話が切れる	電話機に秘話回路を内蔵している 秘話回路とはランチ接続(1つのアナログポートに複数台の電話機が接続されること)されている電話機のうちの1台が使用中は、他の電話機に通話内容が聞こえないようにする回路です。ランチ電話機使用中の検出電圧が高いと、秘話回路が働くことがあります。電話機の取扱説明書をご覧ください。秘話回路を使用しないように設定してください。									
電話がかかってきても着信音が鳴らない	着信音が鳴らない原因はさまざまですが、設定に誤りがあることがあります。以下の設定を確認してください。 なお、購入時は、すべてのアナログポートが呼び出される(=着信音が鳴る)ように設定されていて、設定によって着信の条件が追加されます。Atermを購入時の状態に戻して呼び出されることを確認してから、再度設定すると設定の誤りを見つけやすくなります。ただし、今まで設定した内容(カレンダー表示、設定した電話番号も)は無効になりますのでご注意ください。 「10 .Atermを出荷時の状態に戻す」(P10-1ページ) グローバル着信の設定が間違っている INSネット64で契約した「グローバル着信を利用する/利用しない」の内容と、Atermの設定内容を合わせてください。									

症状		原因と対策
電話が使えない	電話がかかってきても着信音が鳴らない	<p>優先着信ポートが指定されている 優先着信指定されたアナログポートが空いているときは、そのアナログポートだけが呼び出され、ほかのポートには着信しません。優先着信の必要がないときは、指定しないでください。</p> <p>識別着信 (INSなりわけ、疑似識別着信) が設定されている 識別着信が設定されていると、登録した相手から以外は着信しなくなります。必要がないときは、識別着信を設定しないでください。</p> <p>お出かけ設定 (おやすみモード、電話着信転送モード、ボイスワープ転送モード、フラッシュモード) が設定されている おやすみモードやフラッシュモードが設定されているとディスプレイやおでかけボタンのランプで着信を知らせますが、電話機の着信音は鳴りません。電話着信転送モード (着信転送、疑似着信転送) またはボイスワープ転送モードが設定されていて、設定した転送条件が一致したときは、着信音を鳴らさずに転送します。着信音を鳴らして電話をとりたいときはお出かけ設定を解除してください。</p> <p>サブアドレスが違っている 相手側 (INSネット64加入者) が指定したサブアドレスが、自分側のAtermに設定されているサブアドレスと違っています。サブアドレスを使用しないときは、サブアドレスに何も入力せず、「サブアドレスなし着信する」を設定してください。</p> <p>HLC (高位レイヤ整合性) が一致しない 相手側 (INSネット64加入者) が設定したHLCが、自分側のAtermに設定されているHLCと違っています。「HLCを設定しない」にしてください。</p> <p>i・ナンバーまたはダイヤルイン番号の呼び分けがうまくいかない i・ナンバーまたはダイヤルイン番号をもう一度正しく設定してください。 「3.3.7 i・ナンバー」( 3-36ページ) 「3.3.8 ダイヤルインサービス」( 3-38ページ)</p>
	着信音が短く鳴り、受話器を上げると切れてしまう、ファクスの信号のような音ができる	<p>ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルイン対応の電話機を接続していないのにも関わらず、ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインの設定をしている上記サービスを「使用しない」に設定してください。</p>

症状		原因と対策								
電話が使えない	留守番電話機などで相手が受話器を置いても電話が切れない	留守番電話機が回線切断時のリバースパルスを検出して切断するしくみになっている 相手切断時にAtermからリバースパルスを出すように設定します。 受話器を上げて[*][*][1][*][ポート番号] [*][1][3][*][リバースパルスの有無] [#][#]を押し、受話器を戻します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ポート番号</th> <th>リバースパルスの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1:Aポート</td> <td>1:リバースパルスを出す</td> </tr> <tr> <td>2:Bポート</td> <td>0:リバースパルスを出さない</td> </tr> <tr> <td>3:Cポート</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ポート番号	リバースパルスの有無	1:Aポート	1:リバースパルスを出す	2:Bポート	0:リバースパルスを出さない	3:Cポート	
	ポート番号	リバースパルスの有無								
1:Aポート	1:リバースパルスを出す									
2:Bポート	0:リバースパルスを出さない									
3:Cポート										
電話を転送できない	携帯電話やPHSの電源が切れているか、圏外になっている 携帯電話やPHSが使用できることを確認してください。									
お出かけ設定ができない	でかけるボタンを押してもランプが点灯しない	でかけるボタンがロックされている Selectボタンとでかけるボタンを同時に押してロックを解除してください。								

■ ファクスに関するトラブル ■

症状		原因と対策
ファクス通信ができない	ファクス通信ができない	電話が使えないときの症状が当てはまる場合があります。対策は、ファクスの場合でも同じです。「電話が使えない」の欄を参照してください。 相手のファクスがG4タイプのファクスである アナログポートに接続したファクスは、G3モードに対応していないG4タイプのファクスとは通信できません。 ファクスの回線種別を自動選択する機能がONになっている INSネット64に接続したターミナルアダプタでは、ファクスの回線種別を自動選択する機能は使用できません。ファクスの取扱説明書をご覧ください。 データポートからはファクス通信できません アナログポートに接続してご使用ください。

症状		原因と対策
ファクス通信ができない	ファクスに着信できない	<p>アナログポートの接続機器が「電話」に設定されている 「ファクスまたはモデム」に設定します。 受話器を上げて[*][*][1][*][ポート番号][*][0][1][*][1][#][#]と押し、受話器を戻します。 ポート番号 1:Aポート 2:Bポート 3:Cポート</p> <p>Fネットの無鳴動着信機能を利用している 無鳴動着信を行うには、アナログポートから特殊な周波数をファクスに出さなければなりません。Atermは対応していないため、無鳴動着信を利用できません。</p>
	ファクスで発信しても相手から切断される	<p>相手側のターミナルアダプタの設定が誤っている 相手側のターミナルアダプタの設定を確認してもらってください。</p>
	実際には着信していないのにファクスに自動着信することがある、またはファクスから発信できない	<p>ノイズにより誤って無鳴動着信をしている パソコンを接続している場合、パソコンのアースをとってください。 ファクスの設定を無鳴動着信しないように変更してください。</p>

■ モデム通信（アナログ）に関するトラブル ■

症状		原因と対策
モデム通信できない、速度が遅い	モデム通信できない	<p>「電話が使えない」の「受話器を上げると「ブーブーブー」という音がする」の欄を参照し、同じ対処を行ってください。 パソコン上のモデムの設定がトーン(PB)になっていない モデムの取扱説明書をご覧になり、ダイヤル方式をトーン(PB)へ切り替えてください。 Atermの受話音量がモデムと合わない 受話音量を「小」または「大」に変更してみてください。 モデムがダイヤルトーンを検出していない モデムの取扱説明書をご覧になり、パソコン上のモデムの設定を「ダイヤルトーンを無視する」にしてください。 モデムをデータポートに接続している データポートではモデム通信はできません。アナログポートに接続してください。</p>

症状		原因と対策
モデム通信できない、速度が遅い	モデムの速度が遅い	<p>回線が込み合っている 回線状態によっては、通信スピードが上がらない場合があります。一度切断してから再度通信してみてください。</p> <p>モデムの送出力レベルが低い モデムの取扱説明書をご覧ください、モデムの送出力レベルを上げてください。</p>

■ インターネットに関するトラブル ■

症状		原因と対策
インターネットがうまくできない	接続できない	<p>「通信全般に関するトラブル 接続できない」の欄の症状が当てはまる場合がありますので、そちらも参照してください。</p> <p>(以下の切断理由番号はらくらくユーティリティで確認できます)</p> <p>回線が混雑している(切断理由#017) 時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。</p> <p>アクセスポイントの電話番号が間違っている INSネット64接続用の電話番号を別に設けているプロバイダが多くあります。ISDN回線用の電話番号かどうか確認してください。(切断理由#003)</p> <p>同期64kbpsと非同期のアクセスポイントは異なることが多くあります。使用するモデムの種類とアクセスポイントが合っているか確認してください。(切断理由#001~003、028、029、031)</p> <p>ユーザIDとパスワードが間違っている(切断理由#016) プロバイダから発行されたユーザIDやパスワードを確認してください。通常は半角で入力します。</p> <p>DNSサーバアドレスの番号が間違っている(切断理由#016) プロバイダが推奨するDNSサーバのIPアドレスを設定してください。</p> <p>「サーバーの種類で互換性のあるネットワークプロトコルの処理ができませんでした。ダイヤルアップネットワークの設定を再度やり直してください」と表示される PC-9800シリーズパソコン(Windows95)で、シリアルポートドライバのバージョンが古いのが原因です。シリアルポートドライバ作成日を確認し、必要であればアップデートします。</p>

症状	原因と対策
<p>インターネットが接続できない うまくできない</p>	<p>アップデートしないと通信速度を38.4kbps以上にすることができません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Windows95を起動し、[スタート]ボタンをクリックし、[検索] [ファイルやフォルダ]の順に選択する 2) 「探す場所」にハードディスクを指定し、名前に「SER825 1F.VXD」を入力し、[検索開始]ボタンをクリックする 3) SER825 1F.VXD(シリアルポートドライバ)の更新日時が95/11/18よりも古い場合は、次のURLから最新のシリアルポートドライバを入手し、アップデートする。 入手するときは、通信速度を19.2kbps以下にすると、インターネットへのアクセスが可能です。 http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/98_158.htm http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/98_246.htm (こちらのほうが最新版です) 4) ダウンロードしたファイルをダブルクリックする 5) 再起動する <p>Windows98/Windows95の場合、TCP/IPが二重に登録されている(切断理由#016)</p> <p>既にTCP/IPがあればインストールは不要です。複数インストールされていると接続できなくなるので、1つだけ残して他は削除してください。OSをバージョンアップした場合、前の環境が正常に引き継がれないために、接続できないことがあります</p> <p>古いモデム情報を削除したあと、モデム情報やUSBドライバを再インストールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデム情報の削除 <ol style="list-style-type: none"> 1) [コントロールパネル]の[モデム]をダブルクリックする 2) [全般]タブをクリックして不要なモデムを選択し、[削除]ボタンをクリックする <ul style="list-style-type: none"> ・ USBドライバの再インストール(USB接続お使用の場合のみ) <ol style="list-style-type: none"> 1) らくらくウィザードを起動する 2) [USBケーブルで接続]を選択後、[次へ]ボタンをクリックする 3) [ドライバを再インストールする]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする 4) [実行]ボタンをクリックする 5) [再起動]ボタンをクリックする <ul style="list-style-type: none"> ・ モデム情報の追加 <ol style="list-style-type: none"> 1) らくらくウィザードを起動し、[インターネット接続の設定]ボタンをクリックする 2) 画面の内容に従って設定する

	症状	原因と対策
インターネットがうまくできない	接続できない	<p>ダイヤルアップネットワークの設定が間違っている</p> <p>ダイヤルアップネットワークのプロパティで、[サーバの種類]タブの[詳細オプション]のチェックをすべてはずします。</p> <p>Windows95ならばネットワークへのログオン、ソフトウェア圧縮をする、暗号化パスワードを使うの3つ、Windows98ならばデータの暗号化を使用する、この接続のログファイルを記録するの2つ項目があります。</p> <p>また、使用できるプロトコルもネットワークプロトコルでTCP/IPのみにします。</p> <p>さらに[TCP/IP設定]ボタンをクリックし、[IPヘッダー圧縮を使う]のチェックをはずしてください。リモートネットワークでデフォルトの[ゲートウェイを使う]はそのままです。</p> <p>WindowsNT4.0の場合、ポートの使い方が「ダイヤルアウトのみ」以外になっている</p> <p>「リモートアクセス」(図4-34ページ)の手順7で[ダイヤルアウトのみ]を選択すると発信専用になります。着信も受け付けたい場合は、[ダイヤルアウトと着信]を選択してください。ただし、[ダイヤルアウトと着信]にするとRAS着信待ちになり、COMポートを占有するため、らくらくユーティリティが起動できなくなります。この場合は、いったん[ダイヤルアウトのみ]に切り替え、らくらくユーティリティ設定後、[ダイヤルアウトと着信]に戻してください。</p> <p>MAC OS8.0内蔵のCCLファイル(モデム定義ファイル)でインターネットアクセスをしている場合、設定値が初期化されている</p> <p>添付CD-ROMに入っているCCLファイルと入れ替えてください。</p> <p>MacintoshのPerformaシリーズの場合、A/ROSEのチェックがはずれていない</p> <p>[コントロールパネル]の[機能拡張マネジャー]をダブルクリックし、[A/ROSE]のチェックをはずしてください。</p> <p>Macintoshで64kbps(同期)に接続する場合、115.2kbpsで通信できない機種である</p> <p>57.6kbpsのCCLファイルを使ってください。添付CD-ROMに入っているCCLファイルと入れ替えます。</p>


症状		原因と対策
インターネットがうまくできない	<p>通信料金が高すぎる</p> <p>接続完了時に「ピッピッ」と音がする</p> <p>通信中に電話が使えない</p> <p>電話を使っていないのに、A termのディスプレイにB1B2が表示されている</p>	<p>128kbpsで接続されている</p> <p>Windows 98/95で何らかの原因によって、128kbpsマルチリンクPPP通信が行われています。[コントロールパネル]の[モデム]から[AtermIT SYNC115]をいったん削除し、再度組み込んでください。</p>
	<p>速度が遅く感じられる</p>	<p>アクセス先やインターネットのルートが混んでいると通信速度が遅くなることがあります</p> <p>時間帯を変えてもう一度アクセスしてみてください。</p> <p>パソコンの設定速度が遅い</p> <p>Windowsパソコンでは、通信形態によってパソコンの設定速度を変更しないと、期待した通信速度が出ません。ポートの速度を次のように設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非同期 / 同期PPP変換(同期64kbps通信) 115.2kbps以上 ・128kbpsマルチリンクPPP通信 230.4kbps以上 ・非同期通信 通信速度と同じにする <p>旧式のパソコンなどでCOMポート(シリアルポート)の通信速度が遅い場合は、市販の高速シリアルポートを追加する方法もあります。</p>
メールが着信しない	<p>BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入し、電子メールが届いたのにMSGランプが点滅しない</p>	<p>BIGLOBEの通知表示名と、メール着信通知サービス用ユーティリティで設定した通知表示名が違っている</p> <p>一致しているかを確認してください。また、BIGLOBE側の設定で電話番号とオプション設定を確認してください</p> <p>INSネット64の契約が「ユーザ間情報通知:許可」になっていない</p> <p>自分あてにUUIメールを出して、MSGランプが点滅するかどうか確認してください。点滅すれば契約内容に問題ありません。</p> <p>データポートに指定した着信番号で着信するように設定されていない</p> <p>設定内容をらくらくユーティリティなどで確認してください。</p> <p>らくらくユーティリティで点滅しないに設定している</p> <p>点滅するように設定してください。</p>

症状		原因と対策
電源を入れたとき	MSGランプが点滅している	電子メールが届いた知らせ (BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入している場合) UIメールが届いた知らせ MSGランプを消すには、電子メール着信通知のユーティリティを使うか、電話機の受話器を上げて、 [*] [*] 0 を押します。
その他		漢字Talk7.5xをサポートする際、Macintoshの機種によっては、FreePPPが正常にセットアップ、インストールできない場合や、FreePPP独自のトラブル、FreePPPファイルの破損などの場合は、製造メーカーにお問い合わせください。 インターネット接続アシスタントのトラブルの場合は、製造メーカーにお問い合わせください。

■ Windows の USB ポート接続に関するトラブル ■

症状		原因と対策
パソコンのUSBポートが使用できない	タスクバーの[スタート] [設定] [コントロールパネル] [システム] [デバイスマネージャ] のカテゴリの中に「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」がない	BIOS設定を行わないと、USBポートが使用できないことがあります。BIOS設定の方法はパソコンによって異なりますので、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
Windows がフリーズした	USBを使用した通信アプリケーションを動作させた状態で、AtermのUSBケーブルの抜き差しやAtermの電源入切を行うとWindowsがフリーズした	パソコンによっては、これらの動作によって、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがあります。 通信アプリケーションを終了してからUSBケーブルの抜き差し、Atermの電源入切を行ってください。 パソコンがフリーズした場合には、CTRLキー、ALT (またはGRPH) キー、DELキーを同時に押してWindowsを終了させ、パソコンの電源を切 入してWindowsが正常に起動することを確認してからパソコンを使用するようにしてください。
通信や通信の切断に時間がかかる	ダイヤルアップネットワークでの切断や、ブラウザのデータ表示に時間がかかる	パソコンに[アクティブデスクトップ]が表示されている場合、遅くなることがあります。 以下の手順でアクティブデスクトップの表示を中止してください。 1)[コントロールパネル]の[画面]をダブルクリックする 2)[Web]タブをクリックする 3)[アクティブデスクトップをWebページとして表示]のチェックをはずす

症状		原因と対策
SD/RDランプが点滅しない	パソコンからAtermへデータを送っているとき、SD/RDランプが点滅しない	USBポートを使用しているときは、SD/RDランプは点滅しません。
例外エラーが発生する		スタンバイ、サスペンド機能をサポートしているパソコンでスタンバイ、サスペンドを実行すると例外エラーが発生することがあります。 発生する場合は、スタンバイ、サスペンドを実行しないでください。
パソコンがフリーズする	[Windowsの終了]で[MS-DOSモードでパソコンを再起動する]を選択するとパソコンがフリーズする	パソコンの機種によっては、MS-DOSモードでパソコンを再起動するとフリーズすることがあります。 発生する場合は、「MS-DOSモードでパソコンを再起動する」を実行しないでください。
通信中に画面表示が遅くなる	通信中にパソコンの画面が遅くなったり、マウスポインタの矢印表示が画面に貼りつく	次の手順で画面の設定を変更すると、直る場合があります。 1) [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックする 2) [パフォーマンス]タブをクリックする 3) [グラフィックス]ボタンをクリックする 4) ハードウェアアクセラレータのスライダーを[なし]に動かす 5) [OK]ボタンをクリックし、Windowsを再起動する お使いのパソコンによっては、3Dマウスを使用すると、画面表示が遅くなったり、マウスポインタの矢印表示が画面に貼りつきます。標準のマウスを使用することにより直る場合があります。 1) [コントロールパネル]の[マウス]をダブルクリックする 2) [ポインタ]タブをクリックする 3) デザインを[なし]にする 4) [OK]ボタンをクリックする
データ送受信が止まる、USB機器が使用できない	インターネット接続中にデータの送受信が停止する、または、USBキーボードやUSBマウスなどのUSB機器が使用できなくなる	OHCI対応のパソコンでWindows 98をお使いの場合、本現象が発生することがあります。 以下の手順で、Windows 98のアップデートを行ってください。 1) ダイアルアップネットワークを起動してインターネットに接続する 2) [スタート]ボタンをクリックし、メニューから [Windows Update]を選択する インターネットエクスプローラが起動し、「Windows Updateへようこそ」のページに接続されます。 3) [製品の更新]をクリックする 4) 「推奨する更新」の中から [Windows 98 System Update]をチェックする 5) [ダウンロード]ボタンをクリックする 6) [ダウンロード開始]ボタンをクリックする 7) 画面の指示にしたがい、ダウンロードする 8) 再起動する

症状		原因と対策
ファイルのダウンロードが途中で止まる	ファイルをダウンロードしている状態で長時間放置したら、ダウンロードが止まってしまう	パソコンの機種によっては、省電力機能によりUSBの使用が制限されることがあります。 [コントロールパネル]の[パワーマネジメント]あるいは電源の管理で示される省電力機能を停止させてください。パソコンによってはBIOSで省電力の設定を行うものもあります。お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、省電力の機能を停止させてください。
インターネットに接続できない	Windows95のインストール直後に、らくらくウィザードでダイヤルアップネットワークアイコンを作成したが、インターネットに接続できない	USBポートが割り当てられていないことがあります。 ダイヤルアップネットワークの設定で、ポートから「Aterm IT-USB COMPort Adapter」を選択してください。( 4-8ページ)
AtermがUSB接続を認識しない	Atermの電源を先に入れた後、パソコンを立ち上げると、AtermがUSB接続を認識しない	お使いのパソコンの構成によっては、AtermがUSB接続を認識しないことがあります。 USBケーブルをいったん抜いたあとで、再び接続してください。
電子メール着信通知でエラーになる	電子メール着信通知で「メール通知情報」の読み出しを実行時に、「実行時エラー:5」が発生する	[OK]ボタンをクリックしたあと、再度「メール通知情報」を実行してください。
マルチリンクを再開できない	マルチリンクの再開ボタンを押しても、ダイヤル発信せずに[発信中....]が点滅表示され、128kbps通信にならない	BODが設定されていません。 らくらくユーティリティでBODの設定をしてください。 「データポート」をクリックして[ITMUX設定]タブをクリックして「MP・BOD機能」設定項目の中の「フレックスBODで使用する」にチェックをつけてください。
マルチリンクを停止できない	マルチリンク停止のボタンを押しても、[停止中....]が点滅表示され、64kbps通信にならない	BODが設定されていません。 らくらくユーティリティでBODの設定をしてください。 「データポート」をクリックして[ITMUX設定]タブをクリックして「MP・BOD機能」設定項目の中の「フレックスBODで使用する」にチェックをつけてください。
Windows起動時にITMUXステータス for USBが起動する		Windows起動時にITMUXステータス for USBが起動されるように設定されています。起動させたくない場合は、以下の操作を行います。 Windowsの[スタートアップ]フォルダから、「ITMUXステータス for USB」を削除してください。

■ Windows/Macintosh の USB ポート接続に関するトラブル ■

症状		原因と対策
スリープから復帰できない	スリープ動作時に、キーボードやマウスからのスリープ復帰ができないことがある	<p>キーボードとパソコン本体を接続しているUSBケーブルをいったん抜いて、差し直してください。再びキーボード、マウスが利用可能になります。次のようにスリープ機能を制限することで復帰を可能とすることもできます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) [コントロールパネル] の [省エネルギー設定] をダブルクリックする 2) [スリープするまでの非動作時間] のレバーを [しない] に設定する 3) [より詳しく] ボタンをクリックする 4) [画面のスリープを別指定する] [ハードディスクのスリープを別指定する] をそれぞれチェックし、任意の時間を設定する
頻繁にフリーズやエラーが発生する		システムを再構築してから、USBドライバなどをインストールし直してください。
表示が遅くなったり、メモリ不足エラーが発生する		メモリなどの不足によるものです。不要なアプリケーションを閉じる、パソコンを再起動する、メモリの増設などを行ってください。
通信速度が遅い		<p>接続先のプロバイダやサーバー、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られない場合があります。時間帯を変えるなどして試してください。</p> <p>また、ファイルのアップロードを行う場合は、ご利用の通信アプリケーションによってはフロー制御が使用できないなどの理由から通信パフォーマンスが十分得られない場合があります。</p>
ファームウェアのダウンロードがうまくできない		<p>ファームウェアのダウンロードに失敗した場合は、以下の手順で強制ダウンロードモードを実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ディップスイッチ2～6をONにして電源を切り、もう一度電源を入れる。ディスプレイに「キョウセイ×××」と表示されるのを確認する 2) ディップスイッチを戻して、電源を切り、もう一度入れる 3) 表示が「ショウキョチュウ」から「コマンドタイキチュウ」になるのを確認する 4) しばらくバージョンアップを起動し、画面にしたがって通常と同様の手順でバージョンアップする

■ USB ネットワークに関するトラブル ■

症状		原因と対策
接続時	INSネット64側に接続しようとする	所在地で設定している市外局番や国番号とダイヤルアップネットワークの接続先で設定した市外局番や国番号が違っている [コントロールパネル]の[モデム]で[所在地]情報を変更して、市外局番や国番号を、USBネットワーク用の接続先設定と同じものにしてください。
接続できない	ダイヤルアップ接続のパスワードを忘れてしまった	ダイヤルアップサーバーのパスワードを解除し、新しいパスワードを設定します。 1)[ダイヤルアップネットワーク]フォルダを開く 2)メニューから[接続]-[ダイヤルアップサーバー]を選択する 3)ダイヤルアップサーバーを「着信しない」設定にする 4)WindowsをMS-DOSモードで再起動する 5)MS-DOSプロンプトで、Windowsフォルダへ移動する >cd %windows 6)RNA.pwlファイルを削除する >del rna.pwl 7)Windowsを再起動する 8)[ダイヤルアップネットワーク]フォルダを開く 9)メニューから[接続]-[ダイヤルアップサーバー]を選択する 10)新しいパスワードを入力する旨のメッセージが表示されたら[AtermIT SYNC115]タブを選択し、新しいパスワードを設定して「着信する」を選択する
ハイパーターミナルや通信ソフトなどが動作しない	「COMポートをオープンできません」というエラーが出る	ダイヤルアップサーバーは、着信を行うため、常に指定されたモデム/TAをオープンするので、モデム/TAが接続されているCOMポートは、常に使用中となる COMポートを直接開くタイプの通信ソフトを使う場合には、ダイヤルアップサーバーを「着信しない」設定に変更してください。
ダイヤルアップサーバーで「着信する」を選択できない		ほかのプログラムがAtermを使っている ほかのプログラムが使用中はダイヤルアップサーバーを動作させることができません。逆にダイヤルアップサーバーが動作していると、添付のユーティリティがAtermにアクセスすることができなくなります。

症状		原因と対策
サーバーパソコンが見えない	接続しても[ネットワークコンピュータ]にサーバーパソコンが表示されない	<p>時間がかかることがある</p> <p>[スタート]ボタンをクリックし、メニューから [検索]-[ほかのコンピュータ]を選択してサーバーパソコンの名前を指定して、検索を行ってみてください。サーバーパソコンが表示されれば、動作は正常です。NetBEUIでは、[ネットワークコンピュータ]にサーバーパソコンのアイコンが表示されるまでには時間がかかることがあります。</p> <p>サーバーパソコン側で共有の設定が行われていない</p> <p>正しく設定してください。</p>
共有フォルダを開けない	共有フォルダを開こうとすると何度もユーザー名とパスワードを尋ねられ、フォルダを開くことができない	<p>入力したパスワードが間違っている</p> <p>正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合、サーバーパソコン側で共有しているフォルダを右クリックし、ポップアップメニューから [共有]を選択します。表示された共有名のプロパティで新しいパスワードを設定し直してください。</p>

■ 通信全般に関するトラブル ■

症状	原因と対策
接続できない	<p>回線が空いていない 電話機を2台同時に使用するなどして、回線が空いていない場合、接続できません。少し待って回線が空いてから接続し直してください。</p> <p>パソコンとケーブルが正しく接続されていない パソコン側の接続ポートを間違えていませんか。ケーブルはしっかり差し込まれていますか。Atermを接続しているCOMポート(シリアルポートとも呼びます)が使用する通信ソフトウェアの設定と合っていない 通信ソフトウェアの設定をあわせてください。Windows98/95を使用している場合は、「12.4 ハイパーターミナルで接続を確認する」(☞12-27ページ)を参照して、接続されているCOMポートを確認してください。らくらくユーティリティでポートを確認することもできます。</p> <p>回線を使うアプリケーション(通信ソフトなど)が他に起動している 回線を使うアプリケーションを起動していると、通信できないことがあります。そのアプリケーションを終了してください。</p> <p>自動発信の規制にかかっている Atermは通信相手が話中の場合には、同一番号への再発信の回数を3分で2回以内に制限しています。別の番号にかけるか、最初の発信から3分待ってから接続し直してください。</p> <p>リザルトコードが返らない設定になっている Windows98/95を使用する場合は、ハイパーターミナルを起動し、atq0v1x3を入力してください。</p> <p>「12.4 ハイパーターミナルで接続を確認する」(☞12-27ページ) Macintoshを使用している場合は、ATコマンドが使用できる通信ソフトウェアを用意して同じコマンドを入力してください。</p> <p>また、Atermの設定を出荷時の状態に戻してみる方法もあります。 「10. Atermを出荷時の状態に戻す」(☞10-1ページ)</p>

症状		原因と対策
通話・通信を終了したとき	ディスプレイのB1やB2の表示が消えない	Atermのディスプレイの 二 B1B2のいずれかが表示されたままである AtermとINSネット64を接続しているケーブルを抜いて、30秒程待ってから再び差ししてください。これで通信が切断されたこととなります。
	通信していないのにSD/RDランプが点灯する	DOS/V機等を使用している場合、パソコンのプリンタポート(25ピンコネクタ)にAtermを接続している パソコン側のコネクタがCOMポート(シリアルポートとも呼びます)であるかどうかを、パソコンの取扱説明書で確認してください。 一部のパソコンでは、パソコンの電源を切ってもSD信号を出している パソコンの電源コードを抜けばSD/RDランプが消えます。通信に支障がなければそのままお使いください。
RAS接続	WindowsNT3.51サーバーが、青い画面になりダウンしてしまう	ダイヤルアップネットワークの「ソフトウェア圧縮をする」のチェックをはずしていない Windows98/Windows95では、ダイヤルアップネットワークのプロパティで、[サーバーの種類] タブの[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]のチェックをはずしてください。

■ その他のトラブル ■

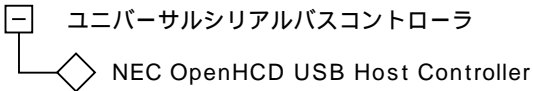
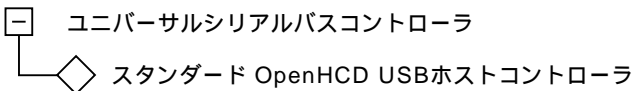



症状		原因と対策
Atermが正常に動作しないが、原因がわからない		Atermが正常に動作しない場合、設定に誤りがあることが多いようです。現在の設定内容の一覧を表示したり、プリントして確認してみてください。 「12.6 Atermの設定内容を確認する」(12-31ページ) どうしても動作しない場合は、出荷時の状態に戻し、最初から設定し直す方法もあります。 「10. Atermを出荷時の状態に戻す」(10-1ページ)
らくらくウィザード、らくらくユーティリティ、らくらくバージョンアップが起動しない	「COMポートは他のプログラムで使用されています。…」または「モデムは他のプログラムで使用中です。…」と表示される	COMポートやプリンタポートを使用する他のアプリケーションが起動している そのアプリケーションを終了してください。 通信のアプリケーションで着信待ちの状態に設定されている場合もありますので、着信待ちをいったんはずしてください。 らくらくウィザード、らくらくユーティリティ、らくらくバージョンアップを同時に動かそうとした 同時には動かすことができません。 データポートやPHSを使用して通信中である通信を終了してください。 ダイヤルアップサーバーを起動している ダイヤルアップサーバーを終了してください。
	「AtermITX x xが見つかりません。…」または「AtermITX x xが接続されているポートが見つかりません。…」と表示される	Atermの電源スイッチが入っていない 電源スイッチの「I(オン)」を押した状態にしてください。 Atermとパソコンを接続しているケーブルがはずれている Aterm側とパソコン側を正しく接続してください。 パソコンのプリンタポートなどに誤って接続している 接続しているパソコンのコネクタがCOMポート(シリアルポートとも呼びます)かどうかを、パソコンの取扱説明書で確認してください。 パソコンにモデムが内蔵されている場合、モデムが占有しているCOMポート(シリアルポートとも呼びます)やモデムポートにAtermを接続している別の空いているCOMポートやモデムポートに接続してください。
	らくらくバージョンアップが失敗し、POWERランプが赤点滅し、ディスプレイに「コマンドタイキチュウ」と表示された	バージョンアップの途中でAtermとパソコンを接続するケーブルが抜けた 接続ケーブルを正しく接続したあと、再度、らくらくバージョンアップでバージョンアップしてください。バージョンアップできないときは、以下の強制ダウンロードモードを実行してください。

症状		原因と対策
らくらくウィザード、らくらくユーティリティ、らくらくバージョンアップが起動しない	らくらくバージョンアップが失敗し、POWERランプが赤点滅し、ディスプレイに「コマンドタイキチュウ」と表示された	バージョンアップするファームウェアのファイルを間違えた ファームウェアがバージョンアップしようとしている機種のものか確認してください。バージョンアップできないときは、以下の強制ダウンロードモードを実行してください。 AtermStationからダウンロードした圧縮ファイルを解凍せずに使用していませんか。解凍してから使用してください。 <強制ダウンロードモード> らくらくバージョンアップでバージョンアップできないときは、次の手順でバージョンアップを行います。 1)ディップスイッチ2～6をONにして電源を切り、もう一度電源を入れる。ディスプレイに「キョウセイ×××」と表示されるのを確認する 2)ディップスイッチを戻して、電源を切り、もう一度入れる 3)表示が「ショウキョチュウ」から「コマンドタイキチュウ」になるのを確認する 4)らくらくバージョンアップを起動し、画面にしたがって通常と同様の手順でバージョンアップする
電源を切ったとき	ディスプレイのRDYの表示が消えない	一部のパソコンでは、パソコンの電源を切ってもER信号がOFF(オフ)にならない このままでは、通信が切断されない場合があります。RDYは、パソコンの電源コンセントを抜けば消えますが、通信は切断されない場合があります。Atermのディスプレイの「B1B2」のいずれかが表示されたままでは、AtermとINSネット64を接続しているケーブルを抜いて、30秒程度待ってから再び差ししてください。これで通信が切断されたこととなります。
停電時に動作しない	POWERランプが点滅しない	Atermの電源スイッチがOFF[]になっている 電源スイッチが[](オン)を押した状態でないと停電モードが使いません。[](オン)にしてください。 ニカド電池パックまたは単3アルカリ乾電池がセットされていない、または+ - を間違えてセットしている 別売オプションのニカド電池パックまたは、市販の単3アルカリ乾電池を正しくセットしてください。 ニカド電池パックまたは単3アルカリ乾電池の容量がなくなっている 電池を交換してください。
	電話をかけることができない	アナログBポート、アナログCポートに電話機を接続している 停電時に使用できるアナログポートはアナログAポートだけです。電話機をアナログAポートに接続してください。

症状		原因と対策
停電時に動作しない	電池がすぐになくなる	アナログBポート、アナログCポートの電話機の受話器を上げている 受話器を置いてください。 S点ユニットに他のISDN通信機器を接続している S点ユニットにも給電されるので、S点ユニットを使用していると使用時間が短くなります。
料金がおかしい	累積料金と実際の電話料金が異なる	タイムプラス、テレホーダイ、iプランなどのサービスに加入していたり、PHS網など他事業者経由で通信を行っている 累積料金と実際の請求額は異なります。Atermでは切断時に網から通知された金額をそのまま表示し、累積料金として計算しています。また、PHS網やNCC網などの他事業者と通信を行うと、料金情報がネットワークから送出不されるため、累積料金と実際の請求額の食い違いの原因となります。 Atermの電源を切る、または初期化した 累積料金は、Atermの電源を切ったり、初期化したりすると、0円や前回保存した値に戻ってしまいます。また、らくらくユーティリティなどで累積料金を表示したあとに設定値を保存すると、表示されていた累積料金の値も保存されます。
CD-ROMのメニュー画面が表示されない		添付CD-ROMのメニュー画面をもう一度出したい 1) Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム][エクスプローラ]を選択する 2) [CD-ROM]ドライブをダブルクリックする 3) menu.exeをダブルクリックする
購入したときの状態に戻したい、Atermの設定を最初からすべてやり直したい		Atermの設定値を出荷時の状態に戻します。ただし、今までで設定した内容は無効になりますのでご注意ください。 「10.Atermを出荷時の状態に戻す」(☞P10-1ページ)
海外で使用したい		Atermシリーズは日本国内のINSネット64を使用することを前提としているため、海外では使用できません。

12.2 Windows 98/95 の USB についての Q&A

Question	Answer
Windows 3.1、Windows NT 3.51、Windows NT 4.0での利用は可能ですか？	利用できません。 Windows 98、Windows 95でお使いください。
Windows 95での制限条件はありますか？	<p>AtermのUSBポートは、Windows 95のバージョンがOEM Service Release 2.1(OSR 2.1)以降でなければ使用できません。</p> <p>Windows 95のバージョンOSR 2.1の確認方法は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックし、[システムのプロパティ]画面に「Microsoft Windows 95 4.00.950B」が表示されていること。 ・ [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックし、ソフトウェアの一覧に「USB Supplement to OSR2」が表示されていること。 <p>お使いのパソコンによっては「USB Supplement to OSR2」が表示されないことがあります。この場合、USBが使えるかどうかをパソコンの取扱説明書などでご確認ください。</p> <p>お使いのパソコンのUSBソフトウェア(USB.D.SYS)のバージョンが4.03.1212の場合は使用できません。バージョンの確認方法は、「USBドライバのバージョンを確認する」(P.2-29ページ)をお読みください。</p> <p>OHCIコントローラ採用のパソコンでは、シャットダウンできない場合があります。</p> <p>OHCI対応パソコンについては下記を参照してください。</p> <p>ケーブルの抜き差しでパソコンが停止することがあります。その他、動作が不安定になるときは、Windows 98にバージョンアップしてください。</p>
PC-9821シリーズとUSB接続できますか？	PC-9821シリーズとのUSB接続はサポートしていません。COMポート(シリアルポート)をご利用ください。
1台のパソコンにUSBポートを使って、Atermを何台まで接続できますか？	1台です。
UHCI対応パソコン、OHCI対応パソコンとは何ですか？	<p>パソコンのUSBホストコントローラの種類です。</p> <p>次の方法で、お使いのパソコンがどちらに対応しているかを確認できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックする 2) [デバイスマネージャ]タブをクリックする 3) [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]カテゴリをダブルクリックする <p>OHCI対応パソコンでは、OpenHCDという文字が表示されるのが一般的です。</p>

Question	Answer
	<p>< OHCI対応パソコンの表示例1 ></p> <p></p> <p>< OHCI対応パソコンの表示例2 ></p> <p></p> <p>< UHCI対応パソコンの表示例 ></p> <p></p>
他のUSBデバイスと同時に使用できますか？	1台のパソコンにAtermと他のUSBデバイスを同時に接続した場合、両デバイスが一つのUSBバスを共用することになります。個々のデバイスの特性や制御方法の違いによりお互いが影響し合い、Atermの通信速度が遅くなったり使用できなくなる可能性があります。このような場合には、他のデバイスと同時に接続を行わないようにお願いします。
フロー制御について	USBポートでご使用の場合、通信ソフトウェアは、ハードウェアフロー制御(RS-CSフロー制御、CTS-RTSフロー制御)に設定してご使用ください。
通信状態について	<p>ダイヤルアップネットワークをご利用の場合、回線接続中は、Windows のタスクバー右下にダイヤルアップネットワークのインジケータが表示されます。</p> <p></p> <p>タスクバーの設定によっては、画面の他の場所に表示されたり、表示が隠れていることがあります。ダイヤルアップネットワークのインジケータが表示されているときは、回線が接続中ですので、回線の切り忘れなどを防ぐために、確認するようにしてください(ダイヤルアップ接続中は通信料金がかかります)。</p> <p>接続を切断するには、このダイヤルアップネットワークのインジケータをクリックし、[切断] ボタンをクリックします。</p> <p>また、通信中はAtermのディスプレイに  (データ通信中であることを示す表示)やB1B2(B1チャンネル / B2チャンネルを使用中であることを示す表示)が表示されますので、通信が終了したらこの表示が消えていることを必ず確認してください。</p>
通信相手によって通信速度が遅い場合があります。	インターネットプロバイダやゲームサーバーなど通信相手によっては、回線が混雑していて、通信速度が遅くなる場合があります。また通信データがショートパケットになるなどの通信条件によってCOMポート(シリアルポート)接続に比べて通信速度が遅くなる場合があります。

12.3 MacintoshのUSBについてのQ&A

以下の環境で、MacintoshのUSBポートにAtermを接続可能です。

- 対象パソコン iMac、Power Macintosh G3
対応OS MacOS 8.5J(または 8.5.1J)またはMacOS 8.6
 MacOS ROM 1.2.1
- 5色のカラーiMacは上記環境になっていますのでそのままお使いいただけます。
- MacOSが8.5J(または 8.5.1J)で、MacOS ROM 1.2.1でないiMacの場合は、アップルホームページ上の
- ・iMac Firmware Update 1.0(iMac Firmware 3.0のインストール)
 - ・iMac Update 1.1

(バージョンはいずれも1999年2月現在)

を配布されている手順書どおりに必ず実行してください(MacOS ROM 1.2.1に更新されます)。

Question	Answer
MacintoshでUSBネットワークを利用できますか？	利用できません。
MacintoshでUSB関連のユーティリティ(ITMUXステータス for USBユーティリティ、着信履歴ユーティリティ)を利用できますか？	利用できません。

■ 利用時の注意 ■

- ・ Atermのポートを指定して通信アプリケーションを実行したまま、AtermのUSBケーブルを抜いたり、Atermの電源を切ったりすると、通信アプリケーションとUSBドライバとの結合がシステムにより解放されます。その後、引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合には、通信アプリケーションをいったん終了し、再度実行してください。Atermに初期化を指示するコマンドをターミナルソフトなどで実行した時も同様です。ATZ98、ATZ99などをターミナルソフトで実行した場合には再度ターミナルソフトを起動し直してください。
- ・ USBポート通信中に新たに他のUSBポートにパソコンを接続したり、抜いたりしないでください。通信中の接続が切断されることがあります。

12.4 ハイパーターミナルで接続を確認する

Windows98/Windows95をお使いの場合、パソコンとAtermが正しく接続されているかどうかを、ハイパーターミナルを使って確認できます。

●ご参考・・・・・・・・

- Windows98/Windows95のインストールのしかたによっては、ハイパーターミナルがインストールされていない場合があります。その場合はWindows98/Windows95の取扱説明書を参照し、ハイパーターミナルを追加インストールしてください。
- 以下の説明はWindows98の例です。お使いのパソコンの環境によって画面表示が異なる場合があります。

1. ハイパーターミナルを起動する

Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[ハイパーターミナル]の順に選択します。

Windows95の場合は、[プログラム]-[アクセサリ]-[ハイパーターミナル]の順番です。

2. [Hypertrm]アイコンをダブルクリックする



3. 適当な名前を入力し、好みのアイコンを選び、[OK]ボタンをクリックする



- [接続方法]の欄の右側の ▾ をクリックし、Atermを接続しているポート(Com xヘダイレクト)を選択し、[OK]ボタンをクリックする

COM接続、USB接続どちらの場合も、[COM xヘダイレクト]になります。ポート番号がわからない場合は、らくらくユーティリティを起動し、ポート番号を確認してください。



- ポートの設定を行う
以下の通りに設定します。
[ビット / 秒]: 9600
[データビット]: 8
[パリティ]: なし
[ストップビット]: 1
[フロー制御]: ハードウェア



- 半角でat ↵ と入力する
正しく設定されていると、「OK」が表示されます。



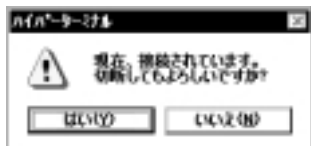
- ati4 ↵ と入力する
「AtermIT NEC Corporation」と表示されれば、正しく接続されています。



- ハイパーターミナルを終了する
メニューから[ファイル]-[ハイパーターミナルの終了]を選択します。



9. [はい] ボタンをクリックする



10. セッションを保存するとき[はい] ボタン、保存しないとき[いいえ] ボタンをクリックする



セッションを保存すると、次回は設定作業をしなくても、Atermの接続状況を確認できます。

▼ ご注意

- ATコマンドは、半角の小文字または半角大文字で入力してください。大文字と小文字の混在はできません(aT、Atは不可)。
- ATコマンド入力時は、IME(カナ漢字入力)をOFFにするなど、全角で入力しないように気をつけてください。
- 手順7で別のメッセージが表示されたときは、Atermではなく他のターミナルアダプタやモデムが応答しています。手順4で指定したCOMポート番号が間違っていますので、もう一度確認のうえ、設定し直してください。

? こんなときは

手順6で「OK」が表示されないときは、Atermが応答しない設定になっている可能性があります。以下のコマンドを入力してください。

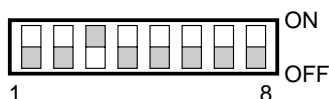
```
atq0v1e1 $ s
```

それでも「OK」が表示されないときは、COMポート番号が間違っている可能性があります。らくらくユーティリティでCOMポート番号を確認し、手順4の接続方法を設定し直してください。

12.5 自己診断

自己診断を行うと、Atermのハードウェアに異常がないかを確認することができます。

1. ディップスイッチを下図のように設定する



2. 電源を1回切って、入れ直す

3. 試験が行われる

正常に終了すると、「ピピピ...」と鳴った後にMSGランプが緑色に点滅します。ディスプレイには「シンダン テストOK」と表示されます

◆ ご注意

自己診断を行っている最中に、電源を切らないでください。電源を切るとバックアップしている設定内容が正しく保持されないことがあります。

4. 試験を終了するときは、電源を切ってディップスイッチの設定を戻してから、再び電源を入れ直す

■ 異常を発見したとき ■

自己診断で異常が発見されるとMSGランプが赤色に点灯し、ブザーが鳴り続けます。

異常があった場合は、最寄りのNECサービスステーション、保守契約されている場合は日本電気フィールドサービス株式会社に修理を依頼してください。

「付録10. 修理と現地調整・保守契約について」(付-20ページ)

12.6 Aterm の設定内容を確認する

らくらくウィザードを使うと、現在のAtermの設定内容の一覧を表示できます。また、設定内容をパソコンのハードディスクのファイルに保存したり、保存済みのファイルから設定を復旧することができます。

1. らくらくウィザードを起動し、[設定値の確認/保存/復元] ボタンをクリックする



2. 以降、画面の指示に従って操作してください

⚠️ ご注意

Atermの設定内容をパソコンのハードディスクに保存したり、保存済みのファイルから設定を復旧できるのは、Windowsをお使いの場合のみです。Macintoshをお使いの場合は現在の設定内容の一覧表示のみが可能です。

付 録

付録 1 .	OCN エコノミーについて	付 -2
付録 2 .	ホームテレホン / ビジネスホンの接続	付 -5
付録 3 .	別売オプション	付 -7
付録 4 .	ターミナルアダプタの増設	付 -8
付録 5 .	S 点 / 高機能 S 点ユニット	付 -9
付録 6 .	切断理由・診断情報・生成源表示一覧	付 -11
付録 7 .	ディップスイッチ	付 -15
付録 8 .	仕様	付 -16
付録 9 .	D-SUB 9 ピンインタフェース	付 -19
付録 10 .	修理と現地調整・保守契約について	付 -20
付録 11 .	Aterm に関するお問い合わせ先	付 -25
付録 12 .	NEC PC クリーンスポットの訪問サービス ..	付 -27
付録 13 .	用語解説	付 -29

付録1 . OCNエコノミーについて

OCNエコノミーはNTTコミュニケーションズ株式会社が提供するサービスで、128kbpsの通信速度でインターネットに常時接続することができます。ここでは、OCNエコノミーに接続する方法を説明します。

■ ご利用条件 ■

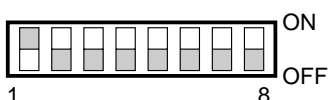
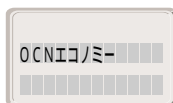
ご利用になるには「OCNエコノミー」の契約が必要です。詳しくは、お近くのNTTコミュニケーションズ株式会社までお問い合わせください。

■ Aterm を設定する ■

OCNに接続するときは、ディップスイッチの切り替えが必要です。

1. Atermの電源を切る
 2. 電池カバーを開けてディップスイッチを設定する
 3. AtermをOCNエコノミー回線に接続する
 4. Atermの電源を入れる
- ディスプレイに次のように表示されます。

ディップスイッチは、電池ケースの中にあります。電池カバーを開け、電池が入っている場合は電池を抜き出してください。つまようじなど先の細いものでディップスイッチ1をONに、それ以外をOFFの側に倒します。



● ご参考

- OCNエコノミーへの接続時、アナログポートに接続した電話機やファクスなどは使用できません。
- OCNエコノミーの設定中、ファームウェアのバージョンアップはできません。バージョンアップを行う場合は、ディップスイッチ1をいったんOFFにして、電源を入れ直してから行ってください。
- OCN接続中、Atermは発信側の機能のみとなります。

■ パソコン側の設定と通信のしかた ■

OCNエコノミーへのアクセスは、ダイヤルアップIP接続で行います。基本的な手順はインターネットプロバイダにアクセスする方法と同じですが、次の設定を必ず行ってください。

使用するモデム

Atermのモデム定義ファイルにはいくつかの種類がありますが、OCNエコノミー接続時は、ISDN回線128kbps(同期)アクセスポイント用を選択してください。

・ Windowsの場合

ダイヤルアップネットワークでアクセスポイントの設定を行うときに、モデムの選択で「AtermIT MP128」を選択します(☞4-17ページ)。

・ Macintoshの場合

コントロールパネルの中のモデムアイコンをダブルクリックし、モデムの種類から「NEC AtermIT MP」を選択します(☞4-24、4-26、4-29ページ)。

IPアドレスとDNSアドレスの設定

パソコンのダイヤルアップIP接続用のソフトにIPアドレスとDNSアドレスを入力します。

OCNエコノミーを契約すると、8個のIPアドレスが割りあてられます。パソコンに設定するIPアドレスは、ネットワークアドレスとブロードキャストアドレスを除いた残りの6個の中から1つを選びます。

・ Windows の場合

- 1) 作成したダイヤルアップネットワークのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する
- 2) [サーバーの種類]タブの[TCP/IP設定]ボタンをクリックする
- 3) [IPアドレスを指定する]を選択し、IPアドレスを入力する
- 4) [ネームサーバーアドレスを指定する]を選択し、プライマリDNSに指定されたDNSアドレスを入力する
その他のネットワークの設定は通常のダイヤルアップIP接続と同じ設定にしてください(☞4-17ページ)。

・ Macintoshの場合

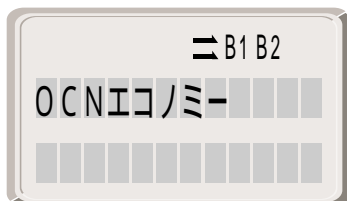
- 1) コントロールパネルのTCP/IPアイコンをダブルクリックする
- 2) 経由先から「PPP」を選択する
- 3) [ネームサーバアドレス]に、IPアドレスを入力する
- 4) [検索ドメイン名]に指定されたドメイン名を入力する
その他のネットワークの設定は通常と同様です(☞4-22、4-25、4-28ページ)。

アクセス先の電話番号

電話番号入力欄には「0」などの任意の数字を仮定で入力しておいてください。数字を入力しておかないと発信できないことがあります。

接続

通常のダイヤルアップIP接続と同様に発信してください。正常に接続が完了すると、ディスプレイに次のように表示されます。



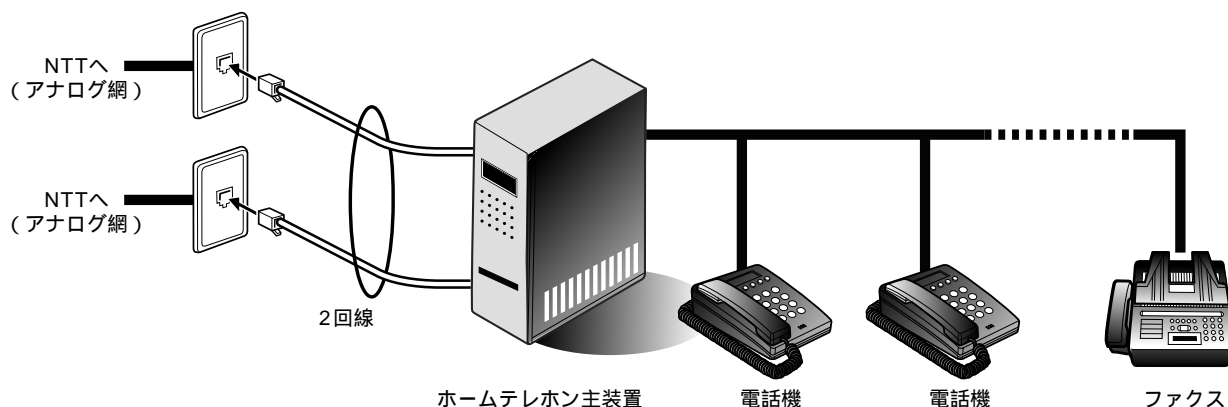
付録 2 .ホームテレホン / ビジネスホンの 接続

ホームテレホンやビジネスホン(ボタン電話機)も、Atermに接続することができます。

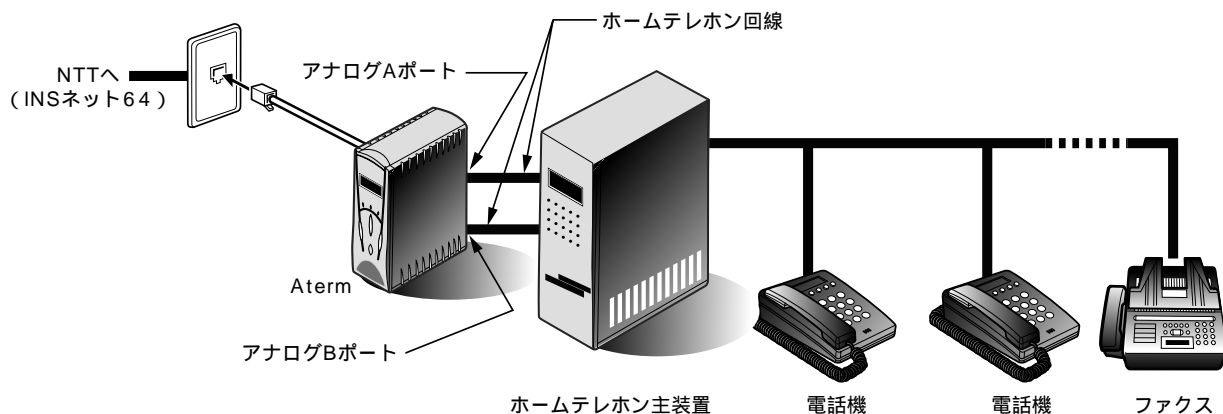
■ 接続方法 ■

1本のINSネット64で、電話回線(アナログ網)2本分を収容することができます。

電話回線(アナログ網)の場合



INSネット64の場合



* ホームテレホン主装置に接続する際は、アナログAポートとアナログBポートに接続してください。

■ 設定のしかた ■

1. 使用しないアナログポートを「使用しない」に設定する(☞2-60ページ)
2. 優先着信ポートを指定する(☞3-62ページ)
3. モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインの設定をする

ダイヤルインを使用してホームテレホンの内線呼び分ける場合

ホームテレホンがモデム・ダイヤルイン対応の場合は、モデム・ダイヤルインの設定をします(☞3-42ページ)。

ホームテレホンがアナログ・ダイヤルイン対応の場合は、アナログ・ダイヤルインの設定をします(☞3-45ページ)。

i・ナンバーを使用してホームテレホンの内線呼び分ける場合

1)「i・ナンバー情報を使用する」に設定します(☞3-36ページ)。

2)「i・ナンバー情報1または2を着信させるアナログポート」を設定します(☞3-36ページ)。

3) モデム・ダイヤルイン対応のホームテレホンを接続している場合は、モデム・ダイヤルインの設定をします(☞3-41ページ)。

i・ナンバー情報の「電話番号」で設定された番号でホームテレホンが呼び出されます。

アナログ・ダイヤルイン対応のホームテレホンを接続している場合は、アナログ・ダイヤルインの設定をします(☞3-44ページ)。

i・ナンバー情報の「内線指定番号」で設定された番号でホームテレホンが呼び出されます。

🔍 ご注意

- ・ 優先着信ポートを設定しないと、1つの着信があったときにホームテレホン / ビジネスホンで2本分の着信ランプが点滅してしまいます。
- ・ 停電モードのときは、アナログAポートのみが動作します。ただし、電池が切れると、アナログAポートも使用できなくなります。
なお、停電モードのときは、ホームテレホンなどの主装置が停電対策されているときにホームテレホンを使うことができます。

付録3 . 別売オプション

オプションとして次の商品を用意しています。

AtermITX用Ni-Cdバッテリーパック(PC-IT/B02)

停電モード用充電式ニカド電池パックです。

「9.停電対策」(☞9-4ページ)

S点ユニット(PC-IT/U03)

ターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときに使います。AtermITX80には使用できません。

「付録5. S点 / 高機能S点ユニット」(☞付-9ページ)

高機能S点ユニット(PC-IT/UX2)

ターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときに使います。他のターミナルアダプタに接続した電話機との内線通話が可能です。

「付録5. S点 / 高機能S点ユニット」(☞付-9ページ)

USBケーブル(PC-IT/K02)

AtermをパソコンのUSBポートに接続するためのケーブルです。

標準で1本添付されています。

Sバス延長ケーブル 10m(PC-IT/K11) 25m(PC-IT/K12)

S点ユニット、高機能S点ユニットを取り付け、他のISDN通信機器と接続するときに使用する延長ケーブルです。

落雷プロテクタ(PC-IT/SP01)

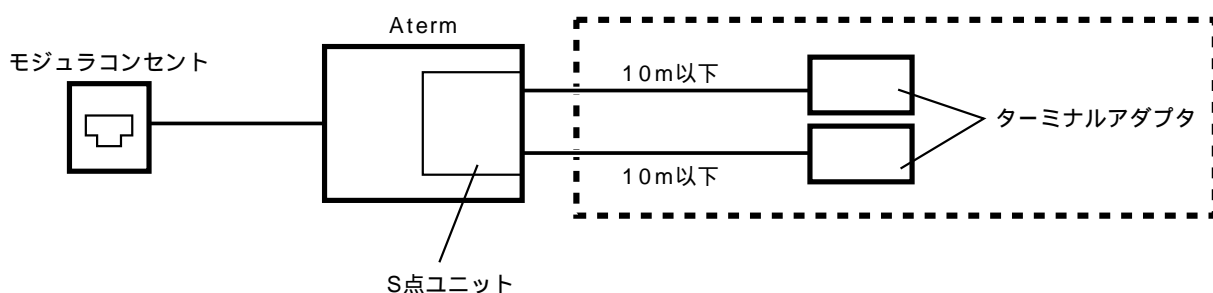
INSネット64のモジュラジャックとAtermITX80/D、ITX70/Dの間に接続し、Atermを雷から保護します。

付録 4 . ターミナルアダプタの増設

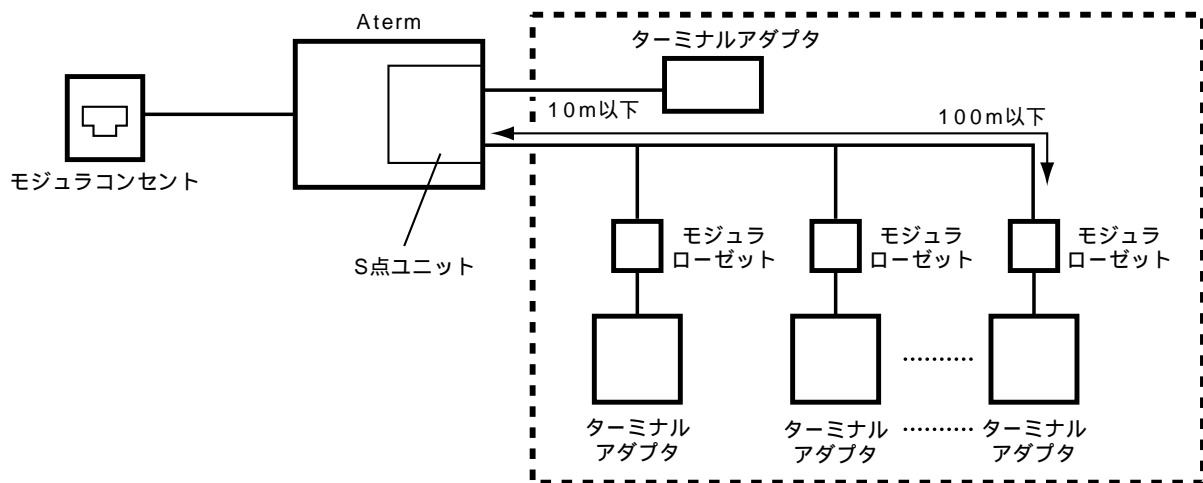
ご使用中のINSネット64に他のターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときは、別売りのS点ユニット、または、高機能S点ユニットをお使いください。最大7台までのターミナルアダプタやISDN通信機器を増設可能です。

2台までのターミナルアダプタを増設する場合

S点ユニットまたは高機能S点ユニットの2つのモジュラジャックには、2台までのターミナルアダプタを接続できます。



3台以上のターミナルアダプタを増設する場合



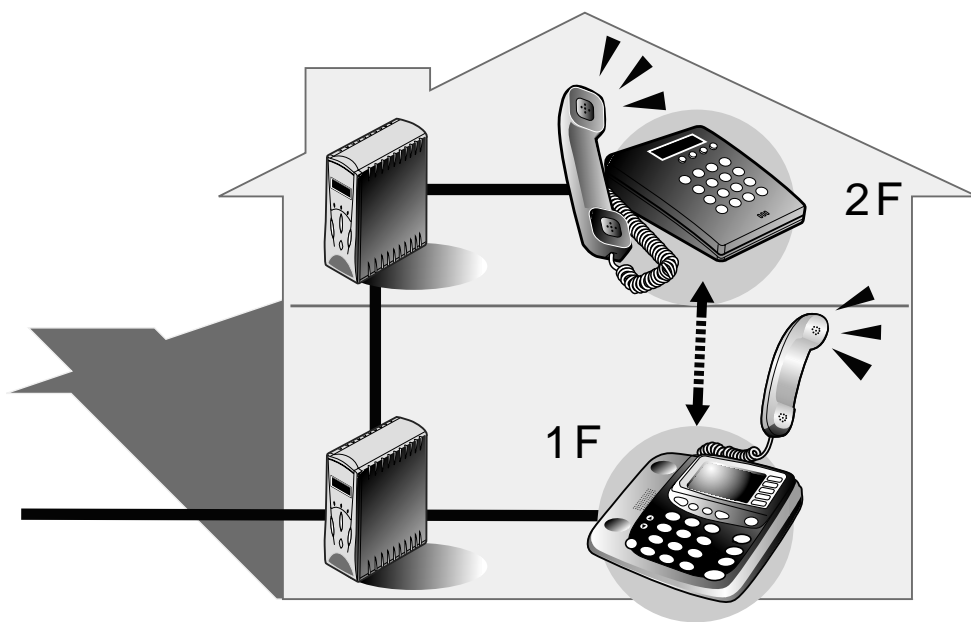
ターミナルアダプタの増設

付

付録 5 . S 点 / 高機能 S 点ユニット

S 点ユニットまたは高機能 S 点ユニットを使うと、別のターミナルアダプタや ISDN 通信機器を増設することができます。

高機能 S 点ユニットの場合は、さらに増設したターミナルアダプタに接続した電話機やパソコン同士で、内線通話 (通信) や内線転送ができるホームネットワークを構築できます。



S 点ユニット (PC-IT/U03)

DSU 内蔵型の Aterm IT シリーズ (ITX70/D、ITX80/D) に、別のターミナルアダプタや ISDN 通信機器を増設できます。

Aterm の S 点ユニットスロットに S 点ユニットを差し込んで利用します。S 点ユニットにはモジュラジャックを 2 個装備しているため、2 台までは簡単に増設できます。

S 点ユニットの取り付けかた・使用方法については、S 点ユニットに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

⚠️ ご注意

DSU を内蔵しない ITX80 には使用できません。

高機能 S 点ユニット (PC-IT/UX2)

Aterm IT シリーズ (ITX70/D、ITX/80、ITX80/D) に、別のターミナルアダプタや ISDN 通信機器を増設できます。

Aterm の S 点ユニットスロットに高機能 S 点ユニットを差し込んで利用します。高機能 S 点ユニットにはモジュラジャックを 2 個装備しているため、2 台までは簡単に増設できます。

ホームネットワークモードを利用すると、各ターミナルアダプタに接続している電話機同士で内線通話・通信や内線転送が可能です。

高機能S点ユニットの取り付けかた、使用方法については高機能S点ユニットに添付の『取扱説明書』やCD-ROMの中のRead Meをご覧ください。

ご注意

- S点ユニットカバーを取りはずした際に、異物をスロット内部に入れないでください。故障の原因になります。
- はんだ面にふれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

ご参考

高機能S点ユニットで、ホームネットワークを使用する場合のグループ番号の設定について

- i・ナンバーをご利用の場合
グループ番号8、9はi・ナンバー用として確保されています。子TAがグループ番号8で発信すると、親TAはi・ナンバー情報1で子TAへ着信をかけます。また、子TAがグループ番号9で発信すると、親TAはi・ナンバー情報2で子TAへ着信をかけます。i・ナンバーをご利用の場合は、グループ番号8、9でお使いください。グループ番号0～7で発信すると、着側TAの全ポートが着信することになります。
- i・ナンバーをご利用しない場合
グループ番号0～7までは契約者回線番号、ダイヤルイン番号を登録できます。

付録 6 . 切断理由・診断情報・ 生成源表示一覧

切断理由表示一覧

	AT#Cコマンド表示 らくらく表示	理由種別
正常クラス	001	欠番
	002	中継網ルートなし
	003	相手ルートなし
	006	チャンネル不許可
	007	設定済みのチャンネルへ着呼
	016	正常切断
	017	着ユーザビジー
	018	着ユーザ応答なし
	019	相手ユーザ呼び出し中、応答なし
	020	加入者不在
	021	相手ユーザ通信拒否
	022	相手端末番号変更
	026	選択されなかったユーザの切断復旧
	027	相手端末故障中
	028	無効番号フォーマット(不完全番号)
029	ファシリティ拒否	
030	状態問い合わせ応答	
031	その他	
リソース使用 不可クラス	034	利用可回線 / チャンネルなし
	038	網故障
	041	一時的故障
	042	交換機輻輳
	043	アクセス情報破棄
	044	要求チャンネル利用不可
	047	その他
サービス提供 不可クラス	049	QOS利用不可
	050	要求されたファシリティ不可
	057	伝達能力不許可
	058	現在利用不可伝達能力
	063	その他
サービス 未提供クラス	065	未提供伝達能力指定
	066	未提供チャンネル種別指定
	069	未提供ファシリティ要求
	070	制限デジタル情報能力のみ可能
	079	その他

	AT#Cコマンド表示 らくらく表示	理由種別
無効メッセージクラス	081	無効呼番号使用
	082	無効チャンネル番号使用
	083	指定された中断呼識別番号未使用
	084	中断呼識別番号使用中
	085	中断呼なし
	086	指定された中断呼は既に切断復旧済み
	087	ユーザはCUGのメンバーではない
	088	端末属性不一致
	091	無効中継網選択
	095	その他
手順誤りクラス	096	必須情報要素不足
	097	メッセージ種別未定義
	098	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ種別未定義
	099	情報要素なし、または未定義
	100	無効情報要素内容
	101	呼状態とメッセージ不一致
	102	タイマ満了の回復
	111	その他
インタ ワーキング	127	その他

診断情報表示一覧

AT#L1コマンド表示 らくらく表示	診断情報
000	本ポートは正常に着信を受け付けました。
201	本ポートは使用中のため着信を受け付けませんでした。
211	本ポートの着信番号設定とINSネット64からの宛先番号が一致していないため着信を受け付けませんでした。着信番号設定を確認してください。
212	本ポートのグローバル着信設定が「着信しない」に設定されているため、グローバル着信を受け付けませんでした。グローバル着信設定を確認してください。
213	本ポートの自己サブアドレス設定とINSネット64からの宛先サブアドレスが一致していないため着信を受け付けませんでした。自己サブアドレス設定を確認してください。
214	本ポートのサブアドレスなし着信設定が「着信しない」に設定されているため、サブアドレスなし着信を受け付けませんでした。サブアドレスなし着信設定を確認してください。
215	本ポートの識別着信設定が「着信する」になっており、識別番号設定に相手からの発信番号と一致するものがなかったため着信を受け付けませんでした。識別着信設定、および識別番号設定を確認してください。

AT¥L1コマンド表示 らくらく表示	診断情報
221	着信があったポートのHLC設定がINSネット64からの着信通知のなかのHLCと一致しませんでした。HLCの設定を確認してください。
231	パケット端末からの着信がきましたが、着信を拒否しました。
301	スティルスコールバック要求の着信がきましたが、着信を受けることができませんでした。スティルスコールバックが「使用する」になっているか設定を確認してください。
302	スティルスコールバック要求に対してサーバ側がかけ直しているときに、別の着信がありましたが、その着信を拒否しました。
311	INSネット64からの着信通知のなかの伝達能力情報転送速度が64kbps以外の着信でした。
312	INSネット64からの着信通知のなかの伝達能力ユーザ情報レイヤ1プロトコルが違っていました。
313	INSネット64からの着信通知のなかの伝達能力ユーザ速度が56kbpsでしたので着信を拒否しました。
321	INSネット64からの着信通知のなかにLLC速度情報が含まれていなかったため、着信を拒否しました。
322	INSネット64からの着信通知のなかのLLCユーザ速度が本TAの受けられない速度でした。通信相手機器を確認してください。
323	INSネット64からの着信通知のなかのLLCユーザ速度が本TAの速度設定と不一致でした。「着信速度チェックしない」に設定し、通信速度が異なるパソコン同士でも通信できるようにしてください。
324	INSネット64からの着信通知のなかのLLC同期 / 非同期が同期であるが、速度が64kbps以外の着信のため拒否しました。
325	INSネット64からの着信通知のなかのLLC中間速度が本TAの受けられない速度のため拒否しました。
326	INSネット64からの着信通知のなかのLLCフロー制御が本TAの設定と不一致でした。本TAのフロー制御方式設定をしてください。
327	INSネット64からの着信通知のなかのLLCストップビット長、データビット長、パリティ情報が本TAの設定と不一致でした。通信相手と設定を合わせてください。
331	G4ファクシミリからの着信でした。相手側の装置を確認してください。
341	データポート通信中、またはアナログポート通信中で2チャンネル使用中のため着信が受け付けられませんでした。
361	応答平均化機能が「使用する」に設定されており、着信できる順番でないため、着信を無視しました。
371	電子メール着信通知またはUIメール通知がありました。
401	停電時のアナログ着信設定は「着信しない」になっているため着信を受け付けられませんでした。停電時着信設定を確認してください。

AT¥L1コマンド表示 らくらく表示	診断情報
402	停電中のためアナログB、Cポートへの着信は受け付けませんでした。
411	アナログポートの設定が「使用しない」になっているため、着信を受け付けませんでした。アナログポート設定を確認してください。
421	内線通話中にチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
422	使用していないアナログポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
423	疑似キャッチホン設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
424	キャッチホンなしの設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
431	優先着信ポートの設定がされているため、優先着信ポートが着信を受けました。そのため、優先着信ポートでないアナログポートには着信しませんでした。
999	その他の理由

生成源表示一覧

AT¥L1コマンド表示 らくらく表示	場 所
00	ユーザ自身
01	ユーザが直接接続する私設網
02	ユーザが直接接続する国内網
03	中継網
04	相手ユーザが直接接続する国内網
05	相手ユーザが直接接続する私設網
07	国際網
10	インタワーキング先の網

付録 7 . ディップスイッチ

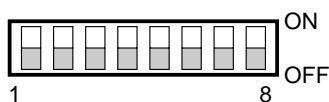
電池カバーを開けて電池をはずすとディップスイッチ(DSW)が見えます。下図網かけ はお買いあげ時(工場出荷時)のスイッチの位置です。次の場合は、設定を変更してください。

- (1) OCNエコノミーを利用するとき
- (2) 工場出荷状態へ戻すとき

その他の場合は、工場出荷時の位置のままでお使いください。

⚠️ ご注意

電源を入れたままでディップスイッチの1から8を変更したときは、電源をいったん切って再び入れることにより設定が有効になります。



網かけは工場出荷状態です

1	2	3	4	5	6	7	8	内 容
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	INSネット64接続
ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OCNエコノミー
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	自己診断
OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	工場出荷状態に戻す
OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	強制ローダモード

付録 8 . 仕様

仕様一覧

項目		諸元	備考	
接続回線		INSネット64 OCNエコノミー回線		
交換形態		データポート:回線交換、専用線 アナログポート:回線交換		
使用チャンネル		Bチャンネル		
インタフェース形態および レイヤ1 起動種別		P-MP常時またはP-MP呼毎契約	INSネット64接続の 場合	
回線 インタ フェース	ITX80	コネクタ形状	8ピンモジュラジャック(RJ-45)	DSU内蔵
		伝送方式	4線、AMI符号	
	ITX70/D ITX80/D	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック(RJ-11)	
		伝送方式	2線、時分割伝送方式	
		伝送路速度	320kbps	
		伝送路符号	AMI符号	
DSU折り返し機能	あり			
パソコン インタ フェース	呼接続機能		ATコマンド	
	RS-232C	機械的条件	D-Sub9ピンコネクタ	
		電気的条件	V.28	
		回路定義	V.24	
		通信速度 (kbps)	非同期: 1.2、2.4、4.8、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、57.6) 同期 / 非同期PPP変換 :64 128kマルチリンクPPP :128 PIAFS :32、64	・()はV.110規格外 ・同期は同期PPP変換 ・128KはMPのみ
		パソコン速度 (kbps)	非同期: 1.2、2.4、4.8、9.6、14.4、 19.2、28.8、38.4、57.6、 115.2、230.4	・28.8、38.4、 57.6、48、56、64、 115.2、230.4は V.28規格外
	USB	ポート数 ITX80, ITX80/D 2ポート ITX70/D 1ポート 通信速度(kbps)	非同期: 1.2、2.4、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、57.6) 非同期 / 同期PPP変換:64 128kマルチリンクPPP:128 PIAFS:32、64	・()はV.110規格外 ・INSネット64のみ
		パソコン速度	12Mbps	
		速度整合方式	ITU-T V.110方式	
	サービス機能		発信者番号、着信番号 自己サブアドレス 短縮ダイヤル 最大10箇所(注1) 識別着信 最大30箇所(注1) 発信者番号通知 非同期 / 同期PPP変換 128kbpsマルチリンクPPP BOD機能 スティルスコールバック	(注1)データポート とアナログポートで 共用しています。
(続く)				

仕様

付

項目	諸元	備考
(続き) パソコン インタフェース	サービス機能	応答平均化 ユーザ間情報通知 無通信監視タイマ 強制切断タイマ 電子メール着信通知 遊遊メール UUIメール 回線状態・通信料金表示 着信履歴表示(注2) PIAFS対応 OCNエコノミー対応 マルチアクセス ITMUX USBネットワーク CTI機能 優先着信ポート i・ナンバー対応
アナログ装置 インタフェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック(RJ-11)
	基本機能	ポート数:3ポート 受信ダイヤル:PBのみ ブランチ接続:可(注3) 供給電圧:約-48V(無負荷時)
	アナログポート サービス機能	アナログポート使用可/不可選択 端末機種選択:電話(音声) G3FAX(3.1kHz オーディオ) 発信者番号、着信番号 自己サブアドレス 発信者番号通知 内線通話・内線転送 優先着信ポート 疑似識別着信 最大30箇所(注4) 短縮ダイヤル 最大10箇所(注4) ダイヤル桁間タイマ 疑似キャッチホン 疑似三者通話 疑似着信転送 お出かけ設定 i・ナンバー対応 フレックスホン対応 INSボイスワープ対応 INSなりわけサービス グローバル着信選択 アナログ・ダイヤルイン

(注2)USBポートのみ

(注3)
 ・ナンバー・ディスプレイ対応機器をブランチ接続した場合、ナンバー・ディスプレイができません。
 ・1つのポートに3台まで接続可。
 (合計容量:3μF/2k以下)

(注4)データポートとアナログポートで共用しています。

仕様

付

項目		諸元	備考
(続き) アナログ装置 インタフェース		モデム・ダイヤルイン INSナンバー・ディスプレイ対応 キャッチホン・ディスプレイ対応 着信履歴表示 / 着信履歴先発信 迷惑電話防止 最大20箇所 疑似なりわけ 最大30箇所 マイプライベート着信 最大30箇所 選択キャッチホン 識別着信転送 フッキング検出タイマ リバースパルス送出 テレホンUIメール テレホン遊遊メール	
停電モード	アルカリ乾電池	待ち受け時間 約4時間 通話 約2時間	
	ニカド電池	待ち受け時間 約1時間 通話 約30分 2日でフル充電	別売オプション品
診断機能		自己診断試験	
ヒューマン インタフェース	ITX70/D、80、 80/D共通	バックライト液晶ディスプレイ 状態表示LED×3 でかけるボタン ファンクションボタン ディップスイッチ	
	ITX80	終端抵抗切替スイッチ	
	ITX70/D、80/D	INS回線リバーススイッチ	
電源		AC100±10V、50/60Hz	
使用条件	温度	0～40	結露しないこと
	湿度	10～90%RH	
外形寸法(W×D×H)		(W)56×(H)171×(D)132mm	突起部分を除く
重量		約0.5kg	
消費電力		約6.5W(最大)	

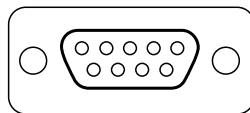
仕様

付

付録 9 . D-SUB 9 ピンインタフェース

コネクタ形状

9ピンコネクタ(メス型)



パソコンインタフェースの信号線

ピン番号	信号方向 パソコン Aterm	名称	機能
シェル	(FG)	保安用接地	装置のフレームアースです
1	CD	キャリア検出	Atermが、パソコンにデータ受信を要求していることを示します ON: パソコンにデータ受信を要求します OFF: パソコンにデータ受信を要求しません
2	RD	受信データ	Atermからパソコンへ送られるデータです
3	SD	送信データ	パソコンからAtermへ送られるデータです
4	ER	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します ON: パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF: パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	SG	信号用接地	相互接続回路に基準電位をあたえます
6	DR	データセットレディ	Atermが動作準備ができているかどうかを示します ON: パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF: パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RS	送信要求	データ送信許可を要求します ON: データ送信許可を要求します OFF: データ送信許可を要求しません
8	CS	送信可	データ送信可能かどうかを示します ON: データ送信が可能 OFF: データ送信してはいけません
9	CI	被呼表示	パソコンに着信していることを示します ON: 着信があることを示します OFF: 着信がないことを示します

D-SUB 9 ピンインタフェース

付

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

付録 13. 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、同梱のCD-ROMの『用語解説.pdf』を参照してください。

アルファベット順

Bチャンネル	ISDN回線の情報チャンネル(64kbps)。INSネット64には2本のBチャンネルがあり、電話をしながらインターネットに接続するなど、同時に2つの通信/通話を行うことができる。
bps	bit per secondの略。通信速度の基本単位。秒あたりに伝送されるビット数。
CCLファイル	MacOSで使用するモデム設定用のソフトウェア。
CD信号	Carrier Detectの略。RS-232Cインタフェースでやりとりされる信号の1つ。キャリア(搬送波)が検出されたことを示す。
COM ^{コム} ポート	パソコンのシリアルポートのこと。複数ある場合は、COM1、COM2などと表示される。
DR信号	Data set Readyの略。RS-232Cインタフェースでやりとりされる信号の1つ。モデムが動作可能な状態であることを示す。
DNS	Domain Name Systemの略。インターネットなど、TCP/IPを使ったネットワーク上でIPアドレスとドメイン名を相互変換するデータベースシステム。
DSU	Digital Service Unitの略。INSネット64とターミナルアダプタ・ISDN電話機などを接続するときのインタフェースとなる装置。
D-SUB	コネクタの規格。D(台形)型をしており、9ピン、25ピンなどのピン数のものがある。
ER信号	Equipment Readyの略。RS-232Cインタフェースでやりとりされる信号の1つ。接続されているパソコンが動作可能な状態であることを示す。
ID	Identificationの略。セキュリティの目的で、特定の利用者であることを区別するために使用する記号や名前。ネットワークへログインするときに、パスワードと組み合わせて使うことが多い。
IP	Internet Protocolの略。インターネット接続などで使われる。一般的にTCP/IPと呼ばれているプロトコルの1つ。

IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bitの値をもち、8bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する(例:192.168.0.10)。
ピアフ PIAFS	PHS Internet Access Forum Standardの略。PHSを利用したデータ通信規格。現在のところ通信速度32kbpsと64kbpsの規格がある。
PPP	Point to Point Protocolの略。遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線やINSネット64を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPモジュール	PPP接続するためのソフトウェア。
ラス RAS接続	Remote Access Serviceの略。公衆網を使って会社などのLAN(サーバー)に接続すること。
アールエスニイサンニイシー RS-232C	シリアル(データをビット単位で順次転送するタイプ)インタフェースの規格。ターミナルアダプタ/モデムなどの周辺機器とパソコンとを接続するために使用する。
ティーシーピーアイビー TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。
URL	Uniform Resource Locatorの略。インターネット上のリソース(データなど)の場所とプロトコルを指定するための書式。一般にホームページ(Web)アドレスと呼ばれているものはその一例。
USB	Universal Serial Busの略。パソコンの周辺機器を数珠つなぎ式またはハブを使った星形に接続できる高速のシリアルインタフェース。
WWW	World Wide Webの略。「世界に広く張り巡らされた蜘蛛の巣」の意味で、インターネットを可能にした情報技術。

あ行

アカウント	コンピュータネットワークの中で特定のサービスを利用するために利用者に与えられるID。
アクセスポイント	プロバイダ(またはパソコン通信サービス)が各地に設けているダイヤルアップ接続するための電話番号。
インストール	パソコンの周辺機器やソフトウェアを実際に使えるようにすること。ソフトウェアは、CD-ROMやFDなどの媒体からパソコン本体のハードディスクに、インストーラと呼ばれるプログラムを使ってコピーされる。セットアップともいう。
オンラインサインアップ	パソコンからアナログ回線/INSネット64を通じてプロバイダ(パソコン通信サービス)などへの入会・契約手続きを行うこと。

か行～さ行

クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバーからの資源やサービス(ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を受けるコンピュータ。
サーバー	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス(ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を提供するコンピュータ。
自己解凍形式	圧縮ファイルにそのファイルの解凍プログラムを加えて実行形式のファイルにしたもの。そのファイルを実行すると、圧縮ファイルが自動的に解凍するので、解凍用のプログラムを必要としない。
終端抵抗	ターミネータともいう。S/T点に複数のターミナルアダプタ/ISDN電話機などをバス配線するとき最後の部分に付ける部品。通常はターミナルアダプタなどに内蔵されており、スイッチであり/なしを切り替えられる場合が多い。
初期化	ハードウェアやソフトウェアの設定値を初期状態に戻すこと。工場出荷時の値に戻す、登録した電話番号などは残したまま初期状態に戻すなどいくつかの初期化方法がある。
シリアルポート	シリアル(データをビット単位で順次転送するタイプ)インタフェース規格。ターミナルアダプタ/モデムなどの周辺機器とパソコンとの接続に利用される。

た行～な行

ダイヤルアップ	プロバイダのアクセスポイントやRASサーバーに電話をかけ、INSネット64やアナログ回線を介して接続すること。
同期通信	送信側と受信側でタイミングを合わせるための信号を加えてデータ通信すること。
ドメイン名・ドメインネーム	インターネットなどのネットワークに参加している組織などに一定の書式で名前を付けたもの。さらに、その組織内のコンピュータにはIPアドレスに対応したホスト名が付けられている。例えば、「http://www.nec.co.jp」のうち「nec.co.jp」がドメイン名にあたる。
ネットワークプロトコル	コンピュータ同士が通信を行うための約束ごと。インターネット接続ではプロトコルとしてTCP/IPが使われる。

は行

バス配線	複数のISDN通信機器をISDN回線のS/T点に接続すること。最大8台まで。
非同期通信	送信データの前後にそれらを示すビット列を加えて通信する方法。受信側とタイミングをあわせる必要がない。
ファームウェア	ハードウェアを動作させるために、ハードウェアにあらかじめ組み込まれているソフトウェア。
ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。Internet ExplorerやNetscape Navigatorがよく使われている。
ブランチ接続	1つのポートをコネクタなどで分岐させて複数の機器を接続すること。
フリーウェア	無料で使うことを作者が許可しているソフトウェア。
プリンタポート	パソコンに備わっている、プリンタ接続用のコネクタ。Macintoshのプリンタポートはモデムポートと同じ。
プロトコル	通信規約。システム(コンピュータやネットワーク)同士が正しく通信できるようにするための約束。
プロバイダ	インターネット接続事業者。
ホームページ	インターネットのWWWを一般的に指す言葉。本来は、WWWサーバーのURLを指定して、最初に表示されるページを指す。

ま行～

モデム定義ファイル	Windowsで使用するモデム設定用のソフトウェア。
ユーザID	IDと同じ。
ルータ	複数のネットワークを相互接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

索引

[数字 : 記号]

#発信	3-5, 8-8
128kbpsマルチリンクPPP通信	4-55, 1-12
184	3-12
186	3-12
1つのポートに複数の電話番号	
~を着信させる	3-66

[A ~ Z]

ACCM	4-54
AtermStation	11-3, 付-25
AUTO+Bチャンネル使用中	
点灯モード	2-17
AUTO+データ通信中点灯モード	2-17
AUTOモード	2-17, 8-13
BIGLOBE	3-23, 3-73, 5-3
~のID番号登録	5-16
~の申し込み	5-5
~へのオンラインサインアップが	
うまくいかない	4-38
BOD機能	4-55
bps	付-29
Bチャンネル	1-11, 付-29
Bチャンネル使用中点灯モード	8-13
CCLファイル	付-29
CD信号	付-29
COMポート	付-29
CTI機能	4-72
DNS	付-29
DR信号	付-29
DSU	2-9, 付-29
D-SUB	付-29
D-SUB9ピンインタフェース	付-19
Dチャンネル	1-11, 5-3
Enterボタン	1-17
ER信号	付-29
FAX情報サービス	付-25
FreePPP	
~を設定する	4-22
HLC	3-76, 8-3
~を設定する	3-77
HLC一覧	3-76
HLC照合のしくみ	3-78
i・ナンバー	2-2, 2-47, 3-36, 8-9
~を設定する	3-36
i・ナンバー使用	
~を設定する	2-61
i・ナンバー情報	8-4
発信する~を各ポートに割り当てる	2-63
~に電話番号を登録する	2-61
~を着信させるポートに割り当てる	2-64
i・ナンバー情報と電話番号	8-12
ID	付-29
INS回線ケーブル	1-14, 2-9
INS回線コネクタ	1-19, 2-9
INS回線リバーススイッチ	1-19
INSキャッチホン	3-16, 3-33
INSなりわけ識別着信	3-50
INSなりわけ識別リングング	3-54
INSナンバー・ディスプレイ	
2-3, 3-5, 3-12, 3-30, 3-33, 3-54	
~を設定する	3-30
INSナンバー・リクエスト	3-30
INSネット64	1-11
お申込票	2-4
申し込み	2-2
INSボイスワープ	3-47, 3-72
INSボイスワープ・セレクト	3-47
IP	付-29
IPアドレス	付-30
ISDN網	1-11
ITMUX	1-12, 4-63



- ITMUXステータスfor USB
 - ユーティリティ 4-65, 6-6
- ITMUXステータスインジケータ 6-7
- ITMUX接続時の認証 4-65
- LCR内蔵電話機 2-14, 3-4
- Macintosh
 - ~を接続する 2-35
- MacintoshのUSBポート 12-26
- MacOS7.6 x 4-25, 4-42
- MacOS8.x 4-28, 4-45
- Mac変換ケーブル 1-14
- Menuボタン 1-17
- Microsoftネットワーク 7-7
- Microsoftネットワーク共有サービス 7-11
- Microsoftネットワーク
 - クライアント 4-13, 7-18
- MSGランプ 1-17, 5-2, 5-4, 5-18
- NetBEUI 7-12, 7-19
- Nextボタン 1-17
- OCNエコノミー 付-2
- OHCI対応パソコン 12-24
- OpenTransportPPP
 - ~をインストールする 4-25
- PC-9821シリーズ 12-24
- PHS 4-66, 5-3, 5-28
 - ~から着信する 4-67
 - ~へ発信する 4-67
- PIAFS 4-66, 付-30
- PIAFSデータ通信 1-12, 4-66
- PPP 付-30
 - ~を設定する 4-27
- PPPモジュール 付-30
- PWRランプ 1-17
- RAS接続 付-30
- RS-232C 付-30
- RS-232Cケーブル 1-14, 2-22, 2-40
- SD/RDランプ 1-17
- Selectボタン 1-17
- S/T回線コネクタ 1-19
- S点ユニット 1-19, 付-7, 付-8, 付-9
- Sバス延長ケーブル 付-7
- TA 1-11
- TCP/IP 4-13, 付-30
 - ~の設定を確認する 4-33
 - ~を設定する 4-22, 4-25
 - ~を追加する 4-15
- UHCI対応パソコン 12-24
- URL 付-30
- USB 付-30
- USBケーブル 1-14, 2-21, 2-37, 付-7
- USBドライバ
 - ~をアンインストールする 2-34
 - ~をインストールする 2-40
 - ~を手動でインストールする 2-26
- USBネットワーク 1-12, 7-2
- USBポート
 - ~に接続する 2-21, 2-37
- USBポートのメリット 2-20
- UII 5-2, 5-3
- UIIメール 5-2
 - ~を受信する 5-22
 - ~を送信する 5-20
- UIIメールEX 5-4
 - ~をインストールする 5-8
- UIIメール変換サービス 5-3
- Windows95 2-26
- Windows95での制限条件 12-24
- WindowsNT4.0 4-33, 4-47
- WindowsのUSBポート 12-24
- WWW 付-30



[ア行]

- アース線
 - ～を接続する 2-10
- アース線接続端子 1-19
- 相手によって特定のポートに
 - ～着信させる 3-63
- 相手の電話番号の表示 6-2
- アカウント 付-30
- アクセスポイント 4-17, 4-36, 付-30
- アダプタ 7-7
- アドレス帳
 - ～へ登録する 5-14
- アナログAポート 1-19, 2-10
- アナログBポート 1-19, 2-18
- アナログCポート 1-19, 2-18
- アナログ・ダイヤルイン 3-44, 8-5
 - ～を設定する 3-45
- アナログ・ダイヤルイン対応 3-44
- アナログチャクシン 2-15
- アナログ通信機器
 - ～を接続する 2-10, 2-18
- アナログ通信機器の種類
 - ～を設定する 2-60
- アナログ通信機器用
 - ～の設定をする 2-55
- アナログポート 1-19
- アナログポート接続機器選択 8-3
- 異常がないか
 - ～を確認する 12-30
- インストール 付-30
 - OpenTransportPPP を～ 4-25
 - USB ドライバを手動で～ 2-26, 2-40
 - UI メールEX を～ 5-8
 - ダイヤルアップを～ 4-11
 - らくらくウィザードを～ 2-23, 2-42
 - らくらくバージョンアップを～ 2-23
 - らくらくキューティリ
 - ティを～ 2-23, 2-42
- インターネットへ接続する
 - 4-39, 4-41, 4-42, 4-45, 4-47
- インターネット接続アシスタント
 - ～を設定する 4-28
- インターネット設定シート
 - ～へ記入する 4-2
- インフォメーションサービス 付-26
- 受ける
 - キャッチホンを～ 3-18
 - 電話を～ 3-5
- 液晶ディスプレイ 1-17
- 応答平均化 4-69
- お出かけ設定 3-72
 - ～を開始 / 停止する 3-75
- お出かけモード 8-8
- おやすみモード 3-72
- オンラインサインアップ
 - 4-6, 4-21, 5-5, 付-30
- 音量調整 3-9

[力行]

開始 / 停止する

- お出かけ設定を～ 3-75
- 識別着信転送を～ 3-71
- 着信転送を～ 3-26
- ボイスワープを～ 3-49

回線側コンセント 2-9

回線ごと非通知 3-12

回線種別 2-10, 2-18

カイセンショウガイレイヤ1ダウン ... 2-12

カイセンショウガイレイヤ2ダウン ... 2-13

回線状態

- ～表示 6-6

かかってきた相手

- ～に電話をかける 6-3, 6-4

各種情報の表示 6-13

確認する

- TCP/IPの設定を～ 4-33
- 異常がないかを～ 12-30
- 設置場所を～ 2-7
- 設定内容を～ 12-31
- 電子メールを～ 5-18
- 電話が使えることを～ 2-14
- 動作を～ 2-65
- ハイパーターミナルで接続を～ ... 12-27

各ポートに電話番号

- ～を設定する 3-67

雷防護アダプタ 2-11

環境設定 5-10

漢字TALK7.5 x 4-22, 4-41

キーパッドプロトコル手順

- 3-47, 3-51, 3-55, 3-57

疑似キャッチホン 3-16

疑似三者通話 3-19

疑似識別着信 3-50

疑似選択キャッチホン 3-57

疑似着信転送 3-22, 3-72

- ～を設定する 3-24

疑似なりわけ 3-54

記入する

- インターネット設定シートへ～ 4-2

- 設定記入シートに～ 2-43

キャッチホン 2-3, 8-3

- ～を受ける 3-18, 3-34, 3-57

- ～を設定する 3-17

キャッチホン・ディスプレイ 3-33, 8-4

- ～を設定する 3-34

キャッチホンを受ける

- 通話中に～ 3-18

強制切断タイマ 4-71

切替モード 3-21

クライアント 7-4, 7-7, 付-31

グローバル着信 2-49, 3-38, 8-3

高位レイヤ整合性 3-76

高機能S点ユニット 付-7, 付-8, 付-9

困ったときは 12-1

コンセントのタイプ 2-7

コンピュータ名 7-12, 7-20

[サ行]

- サーバー 4-68, 5-3, 7-4, 付-31
- サーバー情報 4-18, 4-37
- サーバーのドメインネーム
 - ~を登録する 5-16
- サービス 7-7
- サービスステーション 付-21
- 最新情報
 - ~を入手する 11-3
- 再送信する
 - ショートメッセージを~ 5-29
- 再送信する
 - テレホン UI メールを~ 5-24
 - テレホン遊遊メールを~ 5-29, 5-31
 - 電子メールを~ 5-31
- サブアドレス 3-68, 8-11
- サブアドレスなし着信 8-3
- 三者通話 3-19, 3-20, 8-7
 - ~を設定する 3-20
- 三人で
 - ~通話する 3-20
- 識別着信 8-3
 - ~を設定する 3-52
- 識別着信転送 3-71
 - ~を開始 / 停止する 3-71
 - ~を設定する 3-71
- 識別リング 8-4, 8-11
- 識別リング機能 3-54
- 自己解凍形式 付-31
- 自己サブアドレス 8-4
- 自己診断 12-30
- 自作伝言文 5-33
 - ~を登録する 5-34
- 終端抵抗 付-31
- 終端抵抗切替スイッチ 1-19, 2-13
- 充電 9-3
- 修理 付-20
- 受信する
 - UI メールを~ 5-22
 - テレホン UI メールを~ 5-24
- 出荷時の状態
 - ~に戻す 8-13, 10-2
- 手動セットアップ 4-7, 4-22
- 受話音量 8-4
 - ~を調整する 3-9
- 仕様 付-16
- 状態表示ランプ 1-17
- 消灯モード 2-17, 8-13
- 情報チャンネル 1-11
- 情報通知サービス 8-5
- 情報通知サブアドレス 8-4
- ショートメッセージ
 - ~を再送信する 5-29
 - ~を送信する 5-28
- ショートメッセージサービス 5-3
- 初期化 10-2, 付-31
- 初期化する
 - 操作ボタンで~ 10-4
 - ディップスイッチで~ 10-4
 - らくらくユーティリティで~ 10-3
- シリアルポート 付-31
 - ~に接続する 2-22, 2-39
- 信号チャンネル 1-11, 5-3
- 診断情報 付-12
- スティミュラスプロトコル手順
 - 3-47, 3-51, 3-55, 3-57
- スティルスコールバック 4-67
- スループットBOD 4-55, 4-59
 - ~を設定する 4-60
- 生成源表示 6-13, 付-14
- セキュリティ 8-11
- セキュリティ機能 3-50
- 接続可能な台数 12-24
- 接続する
 - Macintosh を~ 2-35
 - USB ポートに~ 2-21, 2-37
 - アース線を~ 2-10
 - アナログ通信機器を~ 2-10, 2-18

- インターネットへ～
 - 4-39, 4-41, 4-42, 4-45, 4-47
- シリアルポートに～ 2-22, 2-39
- 前面のUSBポートに～ 2-22, 2-38
- 電源コードを～ 2-11
- 背面のUSBポートに～ 2-21, 2-38
- パソコンを～ 2-20, 2-35
- ビジネスホンを～ 付-5
- プリンタポートに～ 2-40
- ホームテレホンを～ 付-5
- モデムポートに～ 2-40
- モデムを～ 2-19
- 切断理由 3-4
- 切断理由表示 付-11
- 設置 2-9
- 設置場所
 - ～を確認する 2-7
- 設定記入シート
 - ～へ記入する 2-43
- 設定事例 2-44, 2-51
- 設定する
 - FreePPPを～ 4-22
 - HLCを～ 3-77
 - INSナンバー・ディスプレイを～ .. 3-30
 - PPPを～ 4-27
 - TCP/IPを～ 4-22
 - TCP/IPを～ 4-25
 - i・ナンバー使用を～ 2-61
 - i・ナンバーを～ 3-36
 - アナログ・ダイヤルインを～ 3-45
 - アナログ通信機器の種類を～ 2-60
 - アナログ通信機器用の～ 2-55
 - インターネット接続アシスタントで～
 - 4-28
 - 各ポートに電話番号を～ 3-67
 - 疑似着信転送を～ 3-24
 - キャッチホン・ディスプレイを～ .. 3-34
 - キャッチホンを～ 3-17
 - 三者通話を～ 3-20
 - 識別着信転送を～ 3-71
 - 識別着信を～ 3-52
 - スループットBODを～ 4-60
 - 選択キャッチホンを～ 3-58
 - ダイヤルアップ接続情報を～
 - 4-17, 4-36
 - ダイヤルインを～ 3-39
 - 着信側のサブアドレスを～ 3-68
 - 着信転送を～ 3-24
 - 着信電話番号を～ 5-7
 - 通信中転送を～ 3-27
 - ディスプレイのバックライトを～ .. 8-13
 - 電話機で～ 2-58, 8-2
 - 電話番号着信通知を～ 3-25
 - 内線番号を～ 3-43, 3-45
 - なりわけを～ 3-55
 - 日時を～ 2-16
 - ネットワークを～ 4-13
 - バックライトの点灯モードを～ 2-17
 - 発信者通知電話番号を～ 5-7
 - 発信者番号通知を～ 3-13
 - 日付・時刻を～ 2-16, 8-13
 - フレックスBODを～ 4-61, 6-7
 - ボイスワープ転送を～ 3-48
 - ボイスワープを～ 8-12
 - マイプライベート着信を～ 3-64
 - 迷惑電話防止を～ 8-13
 - モデム・ダイヤルインを～ 3-43
 - モデム情報を～ 4-26
 - らくらくウィザードで～ 2-55, 2-57
 - らくらくユーティリティで～
 - 2-56, 2-57
 - リソースBODを～ 4-58
 - セッテイチュウダン 2-16
 - 設定ツールの種類 2-43
 - 設定内容
 - ～を確認する 12-31
 - ～をバックアップする 12-31
 - セットアップ
 - らくらくウィザードでの～ 4-4, 4-20
 - 選択キャッチホン 3-57, 8-11
 - ～を設定する 3-58
 - 選択キャッチホン機能 3-57
 - 選択着信転送 8-7



前面USBポート	1-17
~に接続する	2-22, 2-38
操作ボタン	
~で初期化する	10-4
送信する	
UUIメールを~	5-20
ショートメッセージを~	5-28
テレホンUUIメールを~	5-23
テレホン遊遊メールを~	5-28
電子メールを~	5-30
遊遊メールを~	5-26

[夕行]

ターミナルアダプタ	1-11
ターミナルアダプタの増設	付-8
待機中表示	8-13
ダイヤルアップ	付-31
~をインストールする	4-11
ダイヤルアップアダプタ	4-13
~を追加する	4-16
ダイヤルアップサーバー ...	7-7, 7-9, 7-14
ダイヤルアップサーバーへの	
外部からの着信	7-26
ダイヤルアップ接続情報	
~を設定する	4-17, 4-36
ダイヤルアップネットワーク接続先	
~を作成する	7-21
ダイヤルイン	2-2
~を設定する	3-39
ダイヤルインサービス	3-38, 3-66
ダイヤルインサービスと	
グローバル着信	2-49
ダイヤルイン番号	8-9
ダイヤル桁間タイマ	3-4, 8-3
ダイヤル終了識別キー	3-5
ダウンロード	11-4
単3アルカリ乾電池	9-3
短縮ダイヤル	3-10
短縮番号	8-8
着信	3-5
着信音	3-5
異なる~を鳴らす	3-54
~を鳴らさない	3-72
着信側のサブアドレス	
~を設定する	3-68
着信させる	
1つのポートに複数の電話番号を~	3-66
相手によって特定のポートに~	3-63
特定のポートに優先して~	3-62
着信する	
PHSから~	4-67



着信ダイヤルイン複数選択	3-66	ディスプレイのバックライト	
着信転送	3-22, 3-72, 8-9	~を設定する	8-13
~を開始/停止する	3-26	ディップスイッチ	
~を設定する	3-24	1-20, 10-4, 12-30, 付-15
着信転送先アドレス	8-7	~で初期化する	10-4
着信転送元アドレス・サブアドレス	8-8	停電	9-2
着信電話番号		停電時の着信	8-7
~を設定する	5-7	停電モード	9-2
着信番号	8-9	データ通信中点灯モード	8-13
着信番号選択	8-4	データ通信中のディスプレイ	
着信履歴	3-15	~表示	4-52
着信履歴 for USBユーティリティ	6-4	データポート	1-19
着信履歴先発信	3-15	データポート状態	
着信履歴表示	6-2, 6-4	~表示	6-8
チャンネル状態表示	6-7	でかけるボタン	
追加する		1-13, 1-17, 3-26, 3-49, 3-71, 3-75
TCP/IPを~	4-15	~をロックする	3-75
ダイヤルアップアダプタを~	4-16	デジタル回線	1-11
通常通知	3-12	デジタル携帯電話	5-3, 5-28
通常非通知	3-12	テレホンUIメール	
通信状態	12-25	~を再送信する	5-24
通信速度	12-25	~を受信する	5-24
通信中着信通知	4-57, 5-4	~を送信する	5-23
通信中転送	3-27, 8-7	テレホンUIメールの表示	5-24
~を設定する	3-27	テレホン遊遊メール	1-13
通話		~を再送信する	5-29, 5-31
~を保留する	2-15	~を送信する	5-28
通話ごと非通知	3-12	電源コード	1-19
通話する		~を接続する	2-11
三人で	3-20	電源スイッチ	1-20, 2-12
二人を交互に切り替えて	3-21	電源を入れる	2-12
通話中		電子マニュアル	1-15
~にキャッチホンを受ける		電子メール	
.....	3-18, 3-34, 3-57	~の到着を知らせる	5-2, 5-18
~に転送する	3-28	~を確認する	5-18
~の音量変更	8-4	~を再送信する	5-31
通話中転送	3-19	~を送信する	5-30
通話中の音量変更	3-9	電子メールアドレスの短縮番号	
定型文	5-33	~を登録する	5-17



- 電子メール着信通知 1-13, 5-2
- 電子メール着信通知&UUI
 - メールユーティリティ 5-4
- 転送する
 - 通話中に~ 3-28
 - 電話がかかってきたときに~ 3-72
 - 電話がかかってきたときにINSボイス
ワープで 3-72
- 転送トーク 3-23, 8-9
- 転送元トーク 3-23, 8-9
- 電池 9-3
- 電池カバー 1-20, 9-3
- 点灯モード 2-17, 8-13
- 点滅させる
 - 電話がかかってきたときに
でかけるボタンを~ 3-72
 - 電話がかかってきたときに
ピクトグラムを~ 3-72
- 電話
 - ~を受ける 3-5
 - ~をかける 3-4
- 電話がかかってきたとき
 - ~にINSボイスワープで転送する .. 3-72
 - ~にでかけるボタンを点滅させる .. 3-72
 - ~に転送する 3-72
 - ~に電話番号をメールで知らせる .. 3-72
 - ~にピクトグラムを点滅させる 3-72
- 電話が使えること
 - ~を確認する 2-14
- 電話がつながらない 2-15
- 電話機 2-43, 5-4
 - ~で設定する 2-58, 8-2
- 電話機とファクスを接続するときの
注意 2-47
- 電話機とファックス
 - ~を呼び分ける 2-2
- 電話着信転送モード 3-72
- 電話帳 3-10
- 電話番号
 - 2つの~を使う 3-36
 - 複数の~を使う 3-38
 - ~をアナログ通信機器に通知する .. 3-31
 - ~を通知する 3-12
- 電話番号が通知されない 3-31
- 電話番号着信通知 3-23, 3-72
 - ~を設定する 3-25
- 電話番号転送先メールアドレス 8-7
- 電話番号表示 2-15
- 電話番号を登録する
 - 疑似識別着信用の~ 3-53
 - 疑似選択キャッチホン用の~ 3-58
 - 疑似なりわけ用の~ 3-56
 - 短縮ダイヤル用に~ 3-10
 - 通知用の~ 3-14
 - 転送先の~ 3-48
 - マイプライベート着信用の~ 3-64
 - 迷惑電話防止用の~ 3-61
- 電話料金
 - クライアントに~を負担させない... 4-68
- 電話を受ける 2-15, 2-65
 - 特定の相手からの~ 3-50
- 電話をかける 2-14, 2-65
 - 外線に~ 3-4
 - かかってきた相手に~ ... 3-15, 6-3, 6-4
 - サブアドレスを付けて~ 3-69
 - 短縮ダイヤルで~ 3-11
 - 内線に~ 3-6
- 電話を拒否する
 - 特定の相手からの~ 3-59
 - 非通知の電話を~ 3-61
- 電話を転送する
 - かかってきた~ 3-22, 3-47, 3-71
 - 内線に~ 3-8
- 同期通信 付-31
- 動作
 - ~を確認する 2-65
- 到着を知らせる
 - 電子メールの~ 5-2, 5-18
- 登録する
 - i・ナンバー情報に電話番号を~ .. 2-61



サーバーのドメインネームを～	5-16
自作伝言文を～	5-34
電子メールアドレスの短縮番号を～	5-17
迷惑電話を～	3-60
特定のポートに優先して	
～着信させる	3-62
特別の電話番号に対する処理	
INS なりわけ識別着信	3-50
INS なりわけ識別リングング	3-54
INS ボイスワープ・セレクト	3-47
疑似識別着信	3-50
疑似選択キャッチホン	3-57
疑似なりわけ	3-54
識別着信転送	3-71
選択キャッチホン	3-57
マイプライベート着信	3-63
迷惑電話おことわり	3-59
迷惑電話防止	3-59
ドメインネーム	付-31
ドメイン名	付-31
トラブルシューティング	12-1

[ナ行]

内線通話	2-66, 3-6, 8-7
内線転送	2-66, 3-8, 8-7
内線電話機	3-41, 3-44
内線番号	3-45
～を設定する	3-43, 3-45
内線番号でアナログ通信機器	
～を呼び分ける	3-43, 3-46
なりわけ	
～を設定する	3-55
ナンバー・ディスプレイ	8-5
ナンバー・ディスプレイ&	
モデム・ダイヤルイン	8-5
ニカド電池パック	9-3, 付-7
日時	
～を設定する	2-16
ネットワーク	
～を設定する	4-13

ネットワーク転送型	3-47
ネットワークプロトコル	付-31
ノイズ対策	2-11

[八行]

バージョン	11-2
バージョンアップ	11-2, 11-4
ファームウェアを～する	11-4
ハイパーターミナル	
～で接続を確認する	12-27
背面USBポート	1-19
～に接続する	2-21, 2-37
バス配線	付-32
パソコン	
～を接続する	2-20, 2-35
バックアップする	
設定内容を～	12-31
バックアップファイル	
～で復旧する	12-31
バックライトの点灯モード	
～を設定する	2-17
発信	3-4
発信音	2-14
発信時アドレス表示	8-8
発信者通知電話番号	
～を設定する	5-7
発信者番号通知	
3-5, 3-12, 3-23, 3-73, 5-4, 8-4	
～を設定する	3-13
発信する	
～i・ナンバー情報	8-5
発・着サブアドレス通知	3-69
ピアフ	付-30
ピアフデータ通信	4-66
ピクトグラム	1-21, 3-73
ビジネスホン	
～を接続する	付-5
ビッグロープ	5-3

日付・時刻
 ~を設定する 2-16, 8-13
 非同期通信 付-32
 非同期 / 同期PPP変換 4-54
 ファームウェア 11-2, 付-32
 ~をバージョンアップする 11-4
 ファイル共有 7-16
 複数のアナログ通信機器
 ~を呼び分ける 3-40
 二人を交互に切り替えて
 ~通話する 3-21
 復旧する
 バックアップファイルで~ 12-31
 フッキング
 3-7, 3-8, 3-18, 3-21, 3-28, 3-35
 フッキング検出タイマ 3-7, 8-3
 プッシュボタン信号 3-44, 3-46
 ブラウザ 付-32
 フラッシュメモリ 11-4
 フラッシュモード 3-72
 ブランチ接続 付-32
 フリーウェア 付-32
 プリンタ共有 7-17
 プリンタポート 付-32
 ~に接続する 2-39
 フレックスBOD 4-61
 ~を設定する 4-61, 6-7
 フレックスホン 3-16, 3-19, 3-22, 3-27
 フロー制御 12-25
 プロトコル 7-7, 付-32
 プロバイダ 4-2, 付-32
 ボイスワープ
 ~を開始 / 停止する 3-49
 ~を設定する 8-12
 ボイスワープ起動電話番号 3-48
 ボイスワープ停止電話番号 3-48
 ボイスワープ転送
 ~を設定する 3-48
 ボイスワープ転送モード 3-49, 3-72, 8-8
 訪問サービス 付-27

ポートシヨウチュウセツテイフカ 2-16
 ホームテレホン 3-41, 3-44
 ~を接続する 付-5
 ホームネットワーク 付-9
 ホームページ 11-3, 付-32
 ホームページの閲覧 4-49, 4-51
 ポケットベル 5-3, 5-28

[マ行]

マイプライベート着信 ... 3-63, 8-8, 8-11
 ~を設定する 3-64
 マニュアルBOD 4-58
 マルチアクセス 1-12, 4-62
 ミキシングモード 3-20
 無応答時転送 3-47
 無応答または話中時転送 3-47
 無条件転送 3-47
 無通信監視タイマ 4-70
 迷惑電話
 ~を登録する 3-60
 迷惑電話おことわり 3-59
 迷惑電話おことわりサービス 3-59
 迷惑電話防止 3-59, 6-4
 ~を設定する 8-13
 メール 5-1
 メールオプション 5-5
 メールオプションの申し込み 5-6
 モードの切り替え 3-74
 文字コード 5-32
 モジュラケーブル 2-18
 モデム
 ~を接続する 2-19
 モデム情報
 ~を組み込む 4-7, 4-33
 ~を設定する 4-26
 モデム信号 3-31, 3-41
 モデム・ダイヤルイン 3-41, 8-5
 ~を設定する 3-43
 モデム・ダイヤルイン対応 3-41



モデム定義ファイル	付-32
モデムポート	
~に接続する	2-39
戻す	
出荷時の状態に~	8-13, 10-2

[ヤ行]

ユーザID	付-32
ユーザ間情報通知	5-4
ユーザ間情報通知サービス	3-23, 5-2, 5-3
優先着信ポート	8-7
優先着信ポート指定	3-62
遊遊メール	1-13, 3-23, 3-73, 5-3
~を送信する	5-26
呼び分ける	
電話機とファクスを	2-2
内線番号でアナログ通信機器を~	
.....	3-43, 3-46
複数のアナログ通信機器を~	3-40

[ラ行]

落雷対策	2-11
落雷プロテクタ	付-7
らくらくウィザード	1-11
~で設定する	2-55, 2-57
~でのセットアップ	4-4, 4-20
~をインストールする	2-23, 2-42
らくらくテレホン設定	8-2
らくらくバージョンアップ	
~をインストールする	2-23
らくらくユーティリティ	2-23, 2-42
~で初期化する	10-3
~で設定する	2-56, 2-57
~をインストールする	2-23, 2-42
ラス接続	付-30
リザルトコード	4-73
リソースBOD	4-55, 4-57
~を設定する	4-58
リバーススイッチ	2-12
リバースパルス送出	8-4
リモートアクセス	4-34
リモートクライアント	4-68
累積料金のクリア	6-11
累積料金表示	6-10, 8-8
ルータ	付-32
連続動作可能時間	9-2

[ワ行]

割込音	3-7, 3-16, 3-57
話中時転送	3-47

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

NEC PC クリーンスポットの訪問サービス

NECでは、パソコンやAtermの設定をすべてお引き受けする「訪問サービス」を実施しております。ご自宅などにサービスマンが出張訪問し、設置・接続作業を承ります(有料)。NEC PC クリーンスポットのサービスメニュー・料金・電話番号については、「付録 12. NEC PC クリーンスポットの訪問サービス」(付-27ページ)を参照してください。



この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。